

令和3年度

事業概要



仁杉 JCT 付近から富士山を望む

令和3年4月

国土交通省
中部地方整備局
沼津河川国道事務所

1. 沼津河川国道事務所の概要

静岡県東部・伊豆地域において、安全・安心の確保、地域の活性化等に必要な社会資本の整備を進めています。

治水事業関係として、以下を行っています。

(1) 河川事業

狩野川の改修工事、維持修繕、雨量・水位情報の収集及び洪水予報、水防警報の発信伝達

(2) 砂防事業

狩野川本川上流域の砂防工事

伊豆東部火山群（狩野川流域を除く）の砂防工事に関する調査

(3) 海岸事業

富士海岸の海岸保全施設に関する工事及び水防警報の発信伝達

道路事業関係として、以下を行っています。

(4) 道路事業

伊豆縦貫自動車道、国道1号、138号、246号及び414号の改築、維持修繕、交通安全対策、無電柱化

危機管理として、以下を行っています。

(5) 危機管理

静岡県東部地域の危機管理体制を強化、災害発生の防止、被害の軽減

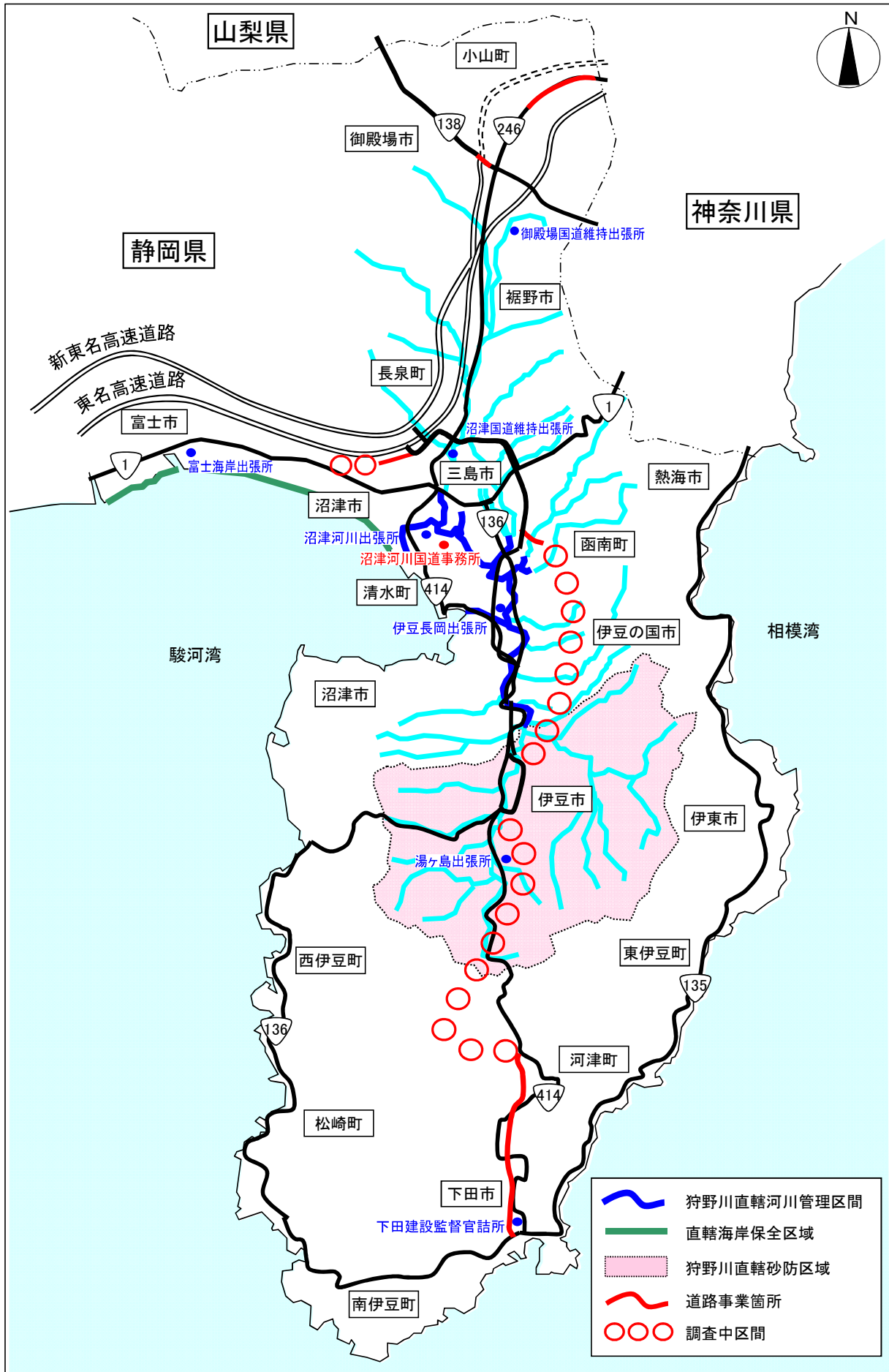
2. 令和3年度の事業費

単位：百万円

事業内容		令和3年度 当初	前年度 当初
治水関係事業	河川	2,334	2,534
	砂防	755	927
	海岸	568	878
	小計	3,657	4,339
道路関係事業	道路	12,418	22,080
合計		16,075	26,419

※上記金額は百万円単位で整理しているため合計金額があわない場合がある。

図一 沼津河川国道事務所管内図



3. 令和3年度の事業内容

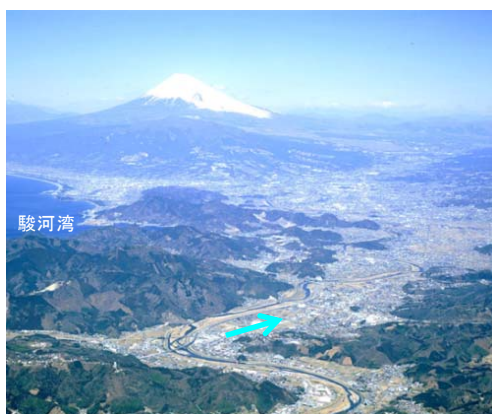
(1) 河川関係

狩野川は、伊豆半島中央部の静岡県伊豆市の天城山系に源を発し、大小の支川を合わせながら北流し、田方平野から駿河湾に注ぐ幹川流路延長約46km、流域面積約852km²の一級河川です。

昭和42年6月に一級河川として指定され、このうち本支川（狩野川24.9km、黄瀬川2.7km、柿田川1.2km、大場川2.6km、来光川1.5km、柿沢川0.9km）の直轄管理区間（計33.8km）及び狩野川放水路（3.0km）について、河川改修及び維持管理を行っています。

令和3年度の主な事業内容

- 清水町長沢地区の築堤護岸・樋管を実施します。
- 長泉町本宿地区の築堤護岸を実施します。
- 清水町徳倉地区の河道掘削・用地買収を実施します。
- 清水町的場地区の築堤・用地買収を実施します。

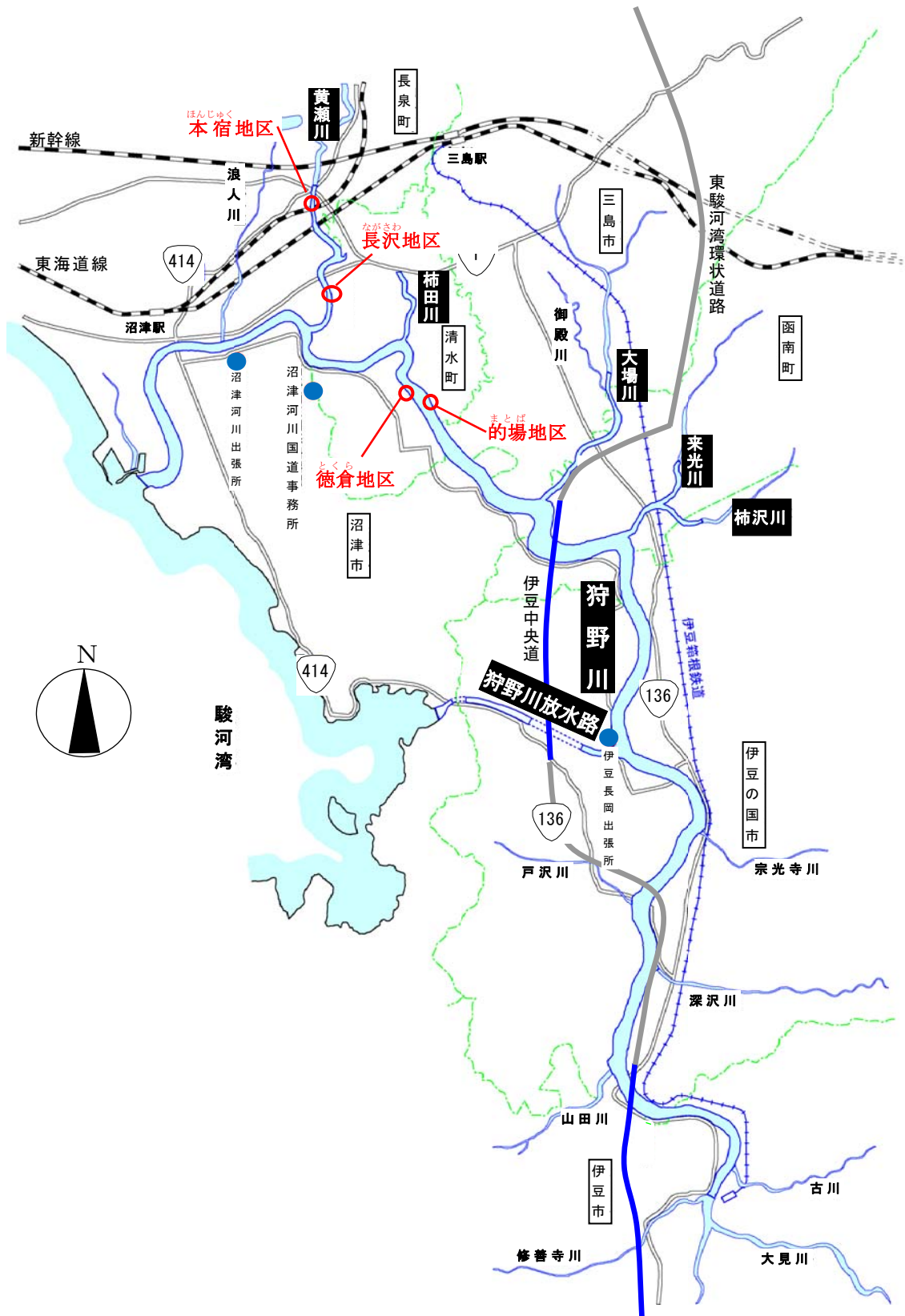


伊豆半島上空から見た狩野川



河口部と沼津市街地

令和3年度 沼津河川国道事務所管内主要河川事業 位置図



清水町^{ながさわ}長沢地区

令和3年度は長沢地区において築堤護岸・樋管を実施します。

- ・ 現 状：長沢地区は堤防高が不足の箇所があるため、洪水時には甚大な被害が生じるおそれがあります。
- ・ 対 策：令和2年度より築堤護岸を実施しており、令和3年度は、築堤護岸と樋管を実施します。

【大平地区の整備説明図】

事業位置図



航空写真



標準断面図

ほんじゆく
長泉町本宿地区

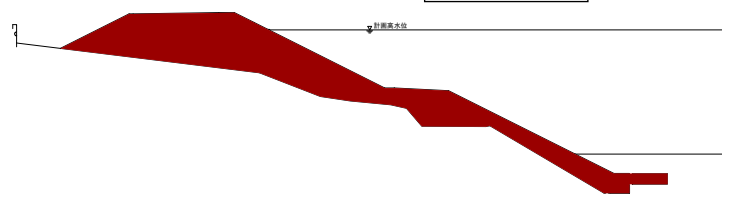
令和3年度は本宿地区において築堤護岸を実施します。

- ・ 現 状：本宿地区は堤防高が不足している箇所があるため、洪水時には甚大な被害が生じるおそれがあります。
- ・ 対 策：令和3年度は、築堤護岸を実施します。

【本宿地区の整備説明図】
事業位置図



標準断面図



清水町徳倉地区

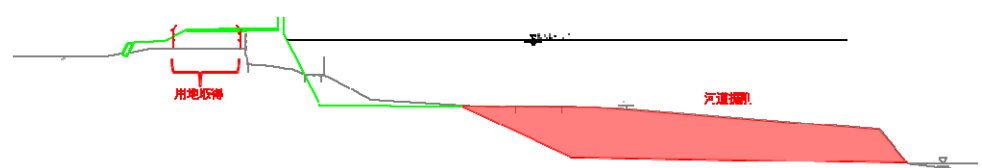
令和3年度は徳倉地区において河道掘削・用地買収を実施します。

- ・ 現 状：徳倉地区は、無堤箇所があるため、洪水時に甚大な被害が生じるおそれがあります。
- ・ 対 策：令和3年度より堤防整備に必要な用地調査を実施します。

【徳倉地区の整備説明図】 事業位置図



標準断面図



※緑線は、次年度以降の護岸工事を示す。

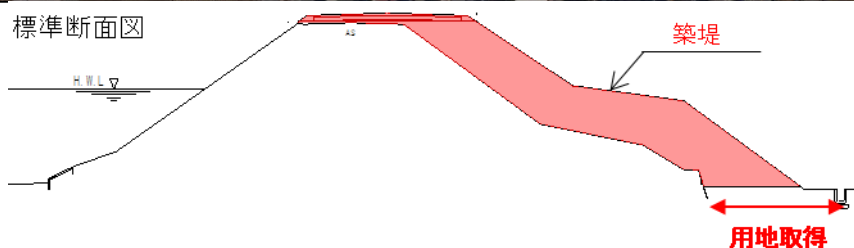
清水町^{まとは}的場地区

令和3年度は的場地区において築堤、用地買収を実施します。

- ・ 現 状： 的場地区は堤防高が不足している箇所があるため、洪水時には甚大な被害が生じるおそれがあります。
- ・ 対 策： 令和3年度は、築堤と用地買収を実施します。

【的場地区の整備説明図】

事業位置図



「流域治水」の取り組み

- 令和2年8月18日、狩野川流域の関係自治体を一堂に会し「狩野川流域治水協議会」を設立・開催。
- 近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、狩野川流域において、あらゆる関係者が協働して「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを確認。
- 令和3年3月25日、第2回狩野川流域治水協議会を開催し、狩野川流域における外水及び内水に対し、あらゆる関係者が協働し流域全体で水害を軽減させる「流域治水」の取り組みについて確認され、「狩野川水系流域治水プロジェクト」を策定。



協議会の様子



WEB 会議画面の様子



狩野川総合水系環境整備事業

河川資料②

柿田川自然再生事業（清水町）

令和3年度は柿田川自然再生事業として外来種駆除等を実施します。

- 概要**

要：柿田川は、富士山麓の湧水を水源とし、湧水環境に依存する貴重な生物（絶滅危惧種27種）が生息する特有の自然環境を形成しており、平成23年9月21日には、国指定文化財 史跡名勝天然記念物として登録されています。しかし、近年、倒木や河道内での土砂の堆積、本来生息しない植物（ツルヨシなど）の繁茂や外来種（オオカワヂシャなど）の侵入など、柿田川特有の生態系に影響を与える課題が発生しています。
- 実施事業**

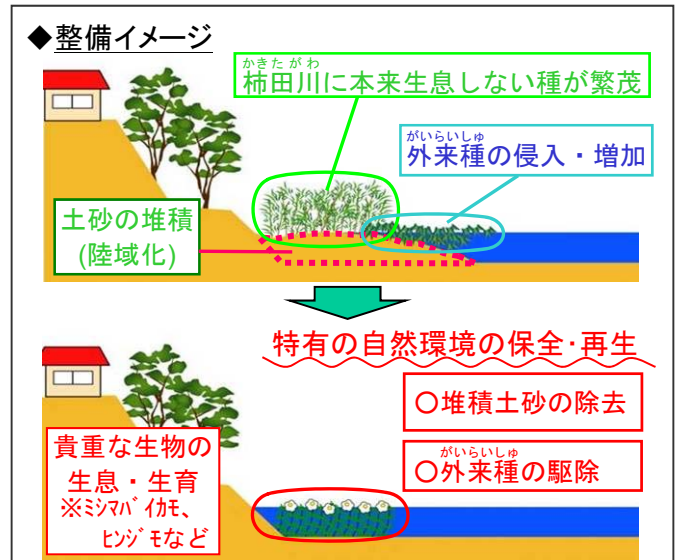
貴重な水生植物が安定して生息・生育できる自然環境や景観の保全・再生を図るため、地域や関係者と一体となって、柿田川自然再生計画に基づき、堆積土砂の除去や外来種駆除などの自然再生事業を進めます。



土砂の堆積



特定外来生物の繁茂（オオカワヂシャ）



神島地区水辺整備事業（伊豆の国市）

令和3年度より事業着手し、高水敷整正を実施します。

狩野川神島地区は、平成10年に伊豆縦貫自動車道の開通や平成30年に隣接「道の駅」がリニューアルされるなどレクリエーションの場としての活用が見込まれますが、堤防には階段や坂路が整備されておらず、河道内には樹木等が繁茂し、水辺を安全に利用できない状況にあります。

このことから、かわまちづくり支援制度登録（R2.3.13）による水辺利用促進を目的に、国の狩野川改修事業と連携し高水敷整正、管理用通路、階段等の親水エリアの整備を行います。



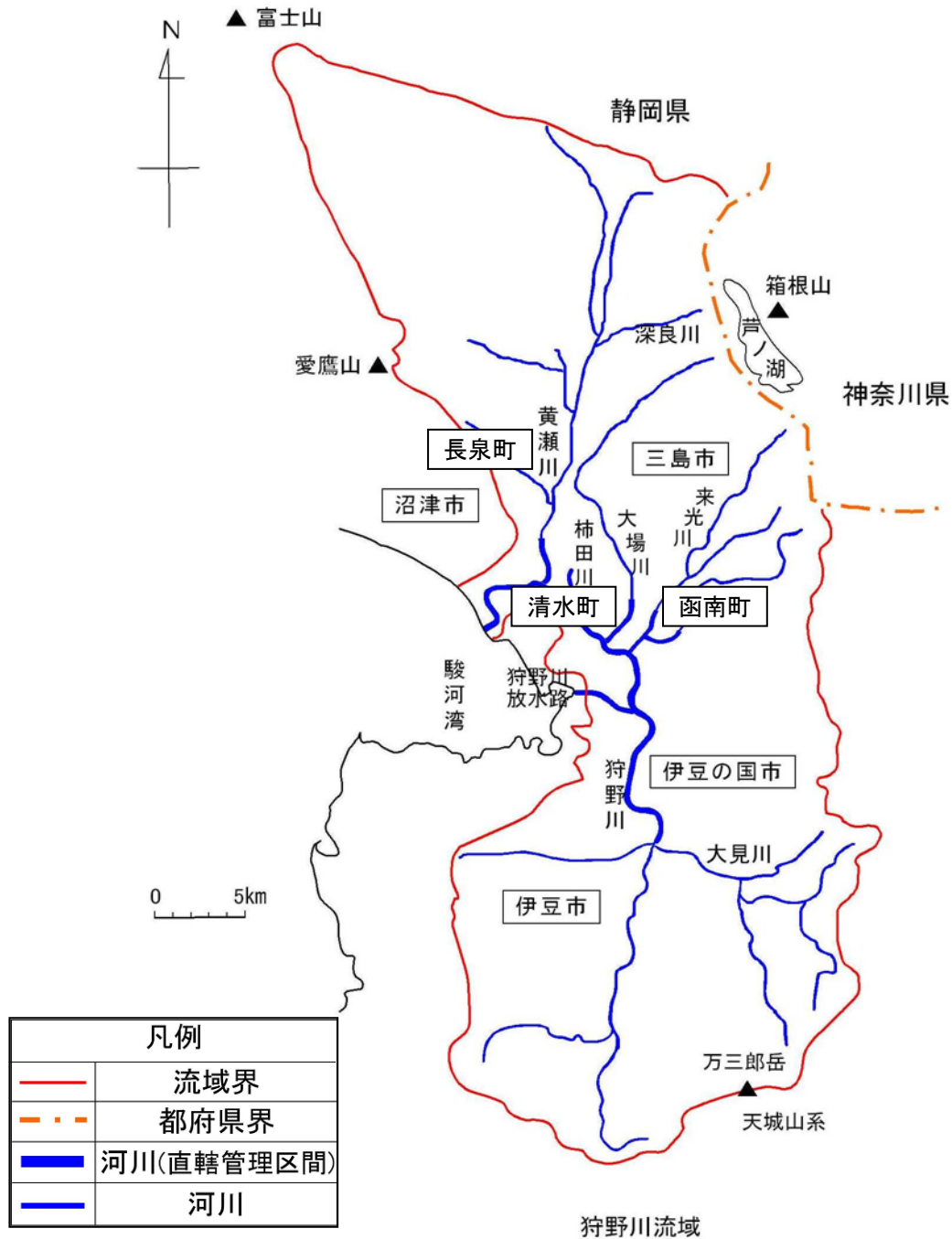
狩野川の適正な維持・管理

河川資料③

かのがわちよつかつかんりくかんぜんいき
狩野川直轄管理区間全域

かのがわちよつかつかんりくかん
狩野川直轄管理区間の河道流下断面の確保と適正な河川利用等のため、じゅんし巡視を行うとともに河川管理施設の点検・補修等を実施します。

直轄管理区間



河川の巡視

河川や堤防等に異常がないか、河川空間の利用時に危険はないか、ゴミ投棄などの不法行為はないかなどを把握するため、日常の巡視を行うとともに、台風などの出水時や、地震時等の緊急時に巡視を行います。



河川の巡視
(タブレット端末を活用した巡視状況登録)



河川敷の不法投棄



不法投棄対応
(警告看板の設置)

河川管理施設の点検

堤防及び樋管・排水機場等の河川管理施設に異常がないか点検を行います。



河川の巡視
(タブレット端末を活用した巡視状況登録)

河川管理施設の補修等

傷んだ堤防や護岸の補修、川の流れを阻害する樹木の伐開、出水で流れ着いた塵芥の撤去を行います。



樹木の伐開

狩野川放水路分流堰等の操作

狩野川放水路分流堰、排水機場、樋管、陸閘等の適切な操作を行います。



放水路分流堰の放流状況

水質事故対策

突発する水質事故に対処するため、関係機関と連携を取りながら必要な対策を行います。



水質事故対応の訓練状況

(2) 砂防事業 ～ 生命と財産を土砂災害から守るために ～

砂防事業は、土石流などの土砂災害から住民の生命、財産等を守るとともに、狩野川下流域への多量の土砂流出による河床上昇に伴う洪水氾濫を防止・軽減するために上流域において土砂の生産、流出を砂防施設によって調節することを目的としています。

当事務所では、昭和33年9月の狩野川台風を契機に、昭和34年から直轄砂防事業を実施しており、狩野川河口から約27.8kmの修善寺橋を起点とした上流域約270km²の狩野川流域(修善寺川流域を除く)において、砂防堰堤、溪流保全工の整備等の砂防事業を実施しています。

また、伊豆東部火山群の火山噴火緊急減災砂防調査も実施しています。

令和3年度の主な事業内容

- 上白岩砂防堰堤群「奥の沢第2砂防堰堤」の管理用道路、本体工事を継続します。
- 上白岩砂防堰堤群「奥の沢第3砂防堰堤」の本体工事に着手します。
- 松沢川砂防堰堤群「松沢川第1砂防堰堤」の本体工事を継続します。
- 既設砂防堰堤の改築工事(流木対策工)を実施します。
- 砂防事業の管内において溪流を監視する機器を整備します。
- 伊豆東部火山群の火山噴火緊急減災砂防調査を実施します。

■昭和33年狩野川台風による災害(契機災害)

- ・約1,200箇所の山腹・溪岸崩壊、22箇所の堤防の破堤・欠壊
- ・死者684人、行方不明者169人、家屋被害6,775戸



筏場崩壊地



狩野川上流の被災状況
(旧修善寺町熊坂地区)



狩野川中下流域の被災状況
千歳橋(旧伊豆長岡町)

砂防事業位置図



- 狩野川流域
- 狩野川直轄砂防事業区域



砂防堰堤改築
かきぎ第1

かみしらいわ
上白岩砂防堰堤群
砂防資料①

まぢざわがわ
松沢川砂防堰堤群
砂防資料②

- 砂防堰堤(既設)
- 溪流保全工(流路工)(既設)
- 山腹工・護岸(既設)
- 直轄砂防事業実施区域
- ◎ 伊豆市役所
- 国道
- 主要地方道

かみしらいわ

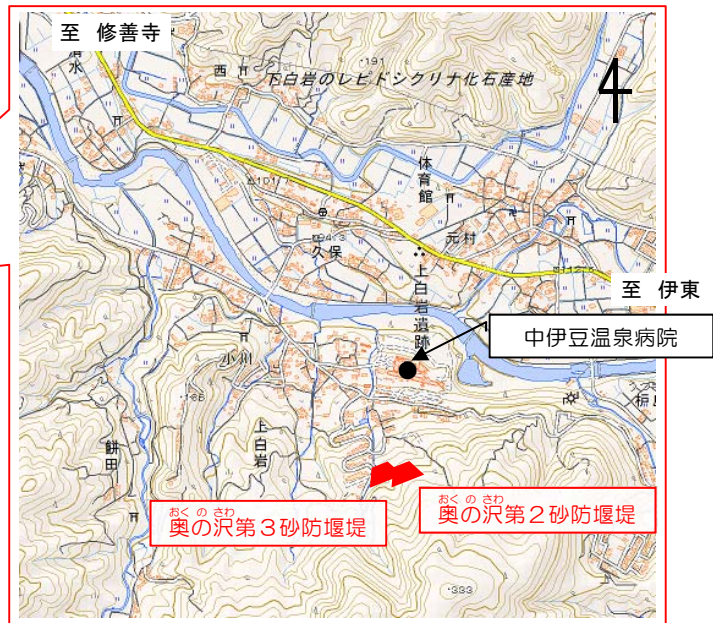
上白岩砂防堰堤群（継続）

砂防資料①

かみしらいわ
静岡県伊豆市上白岩

令和3年度は、かみしらいわ上白岩砂防堰堤群の整備を継続します。

上白岩地区で想定される土石流の氾濫範囲には、要配慮者利用施設（中伊豆温泉病院）、人家等があることから、これらを土砂災害から保全するため砂防堰堤の整備を進めます。



- 凡 例
-  : 施工予定地
 -  : 計画地

まちざわがわ
松沢川砂防堰堤群（継続）

砂防資料②

かじやま
 静岡県伊豆市梶山

令和3年度は、^{まちざわがわ}松沢川砂防堰堤群の整備を継続します。

^{まちざわ}松沢川で想定される土石流の氾濫範囲には、新たに建設されるライフライン（新ごみ処理施設）や国道136号の代替機能を持つ県道349号線、家屋等があることから、これらを土砂災害から保全するための砂防堰堤の整備に着手します。



- 凡例
- ▾ : 施工予定地
 - ▾ : 計画地

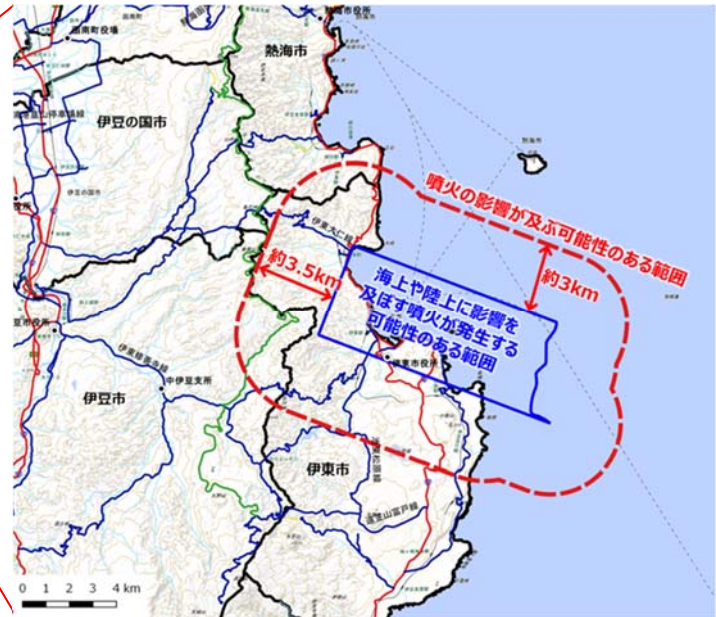
火山噴火緊急減災砂防調査（継続）

砂防資料③

伊豆東部火山群

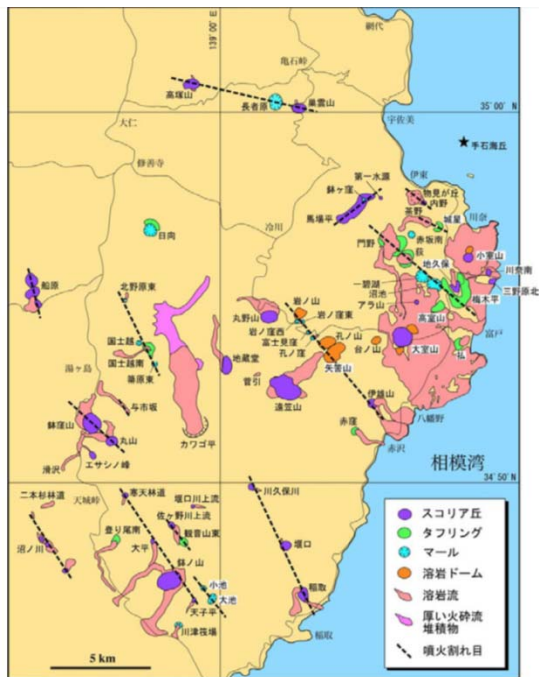
令和3年度は伊豆東部火山群の火山噴火緊急減災砂防調査を継続します。

伊豆東部火山群における警戒避難体制整備のため、火山砂防ハザードマップ及び緊急減災砂防計画策定に資する降灰後土石流氾濫シミュレーション等を実施します。



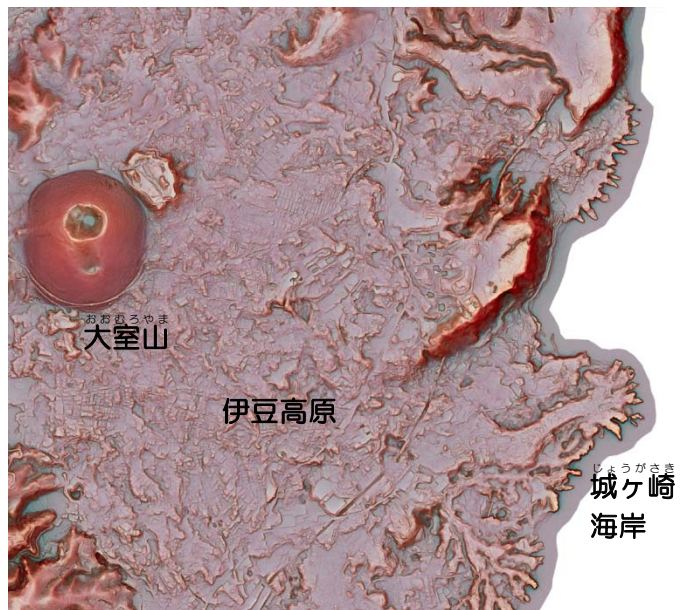
- 海上や陸上に影響を及ぼす噴火が発生する可能性のある範囲
- 噴火の影響が及ぶ可能性のある範囲

伊豆東部火山群防災協議会資料より



伊豆東部火山群の分布図

伊豆東部火山群の火山防災対策検討会報告書より



火山と隣り合わせの地域（赤色立体図で見る大室山と伊豆高原）

火山噴火により流出した溶岩流が伊豆高原を造り、海に流れ拡がった様子から、火山と隣り合わせの地域であることがよく分かる。

(3) 海岸関係

富士海岸は、昭和41年9月台風第26号の越波により、甚大な被害を受けたことを契機に、背後地の安全を確保するため、昭和42年6月から直轄海岸事業を実施しています。

沼津河川国道事務所は沼津港西側から富士川河口までの延長約19kmを担当しています。

令和3年度の主な事業内容

- ・汀線を維持し越波に対する安全性を保つための養浜工を継続します。

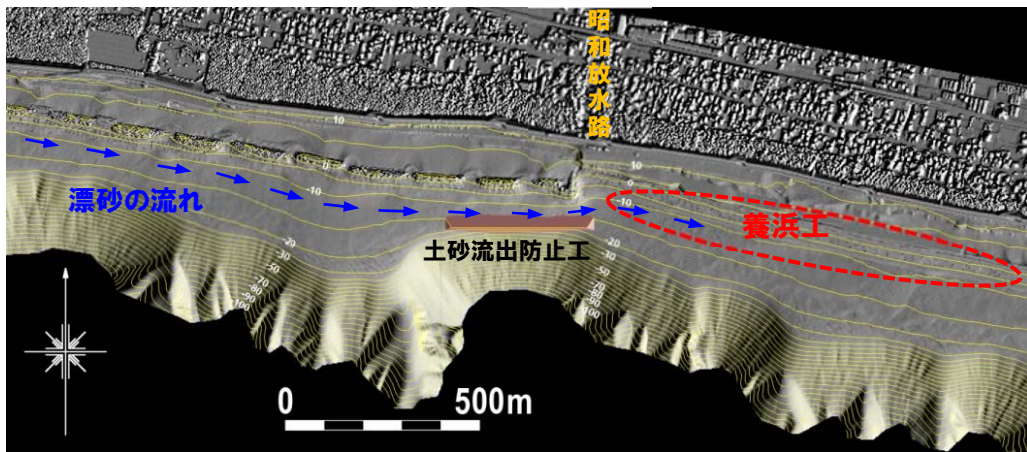
富士海岸保全事業 位置図



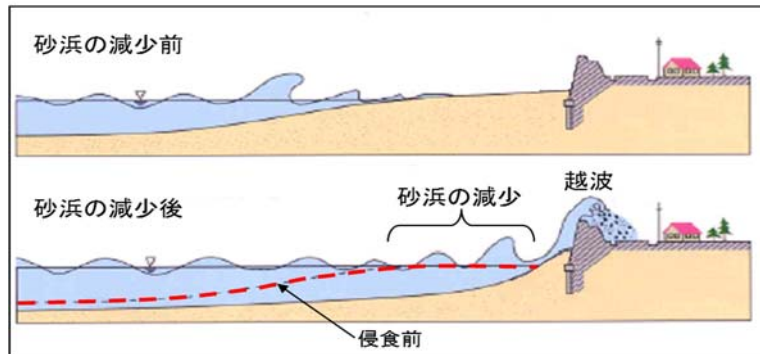
吉原工区 静岡県富士市

令和3年度は、汀線を維持し越波に対する安全性を保つために養浜工を実施します。

- ・現状：富士川からの供給土砂の減少や田子の浦港防波堤などによる沿岸漂砂の遮断等により海岸侵食が顕著となっています。
- ・対策：侵食傾向の著しい吉原工区にて、汀線を維持し越波に対する安全性を保つために養浜工を引き続き実施します。

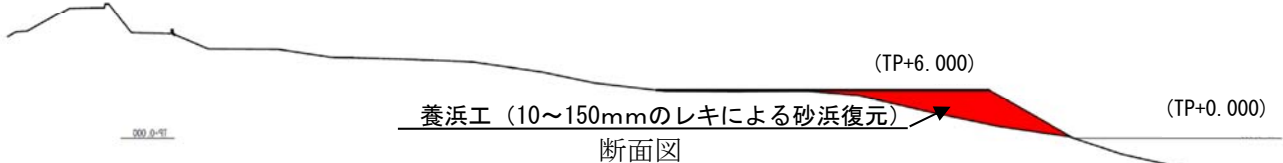


浜幅が減少すると高波が堤防を越えやすくなる



【主な事業内容】

●養浜工 $V = 30 \text{ 千} \text{ m}^3$



海上養浜



陸上養浜



富士山大沢扇状地での養浜材採取

(4) 道路関係

静岡県東部・伊豆地域の発展を支える道路整備として、高規格幹線道路である伊豆縦貫自動車道(東駿河湾環状道路、河津下田道路 (I期) (II期))及び国道1号、138号、246号の改築及び維持管理並びにそれらに関する調査を行います。

令和3年度の主な事業内容

■ポイント

- 国道414号河津下田道路 (II期) 河津IC (仮称) ~ 逆川IC (仮称) 間が令和4年度開通予定
- 国道414号伊豆縦貫自動車道 天城湯ヶ島~河津の都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を推進

◆伊豆縦貫自動車道

国道1号 東駿河湾環状道路

○大場・函南IC~函南IC (仮称) (延長1.9km)

—調査設計を推進

国道414号 河津下田道路 (I期)

○下田北IC (仮称) ~ 下田IC (仮称) (延長5.7km)

R3年度より 相玉地区工事用道路工着手

—相玉地区工事用道路工着手、環境調査、水文調査、用地買収、調査設計を推進

国道414号 河津下田道路 (II期)

○河津IC (仮称) ~ 下田北IC (仮称) (延長6.8km)

2022年度 河津IC (仮称) ~ 逆川IC (仮称) 間 完成2車線開通予定

—改良工、橋梁上下部工、トンネル工、トンネル設備工、舗装工、環境調査、水文調査、用地買収、調査設計を推進

◆一般道路

国道1号 東駿河湾環状道路 (沼津岡宮~愛鷹)

○沼津岡宮IC~愛鷹IC (仮称) (延長2.6km)

—環境調査、水文調査、埋蔵文化財調査、用地買収、調査設計を推進

国道138号 ^{すばしり}須走道路

○^{すんとう}駿東郡^{おやまちょうすばしり}小山町須走^{ごてんば}～^{みどの}御殿場市^{みどの}水土野（延長2.7km）

―整備工、移転補償、環境調査、水文調査、調査設計を推進

国道138号 ^{ごてんば}御殿場バイパス（西区間）

○^{ごてんば}御殿場市^{みどの}水土野^{ごてんば}～^{ごてんば}御殿場市^{さわ}ぐみ沢（延長2.9km）

―整備工、移転補償、環境調査、水文調査、調査設計を推進

国道246号 ^{すその}裾野バイパス

○^{すんとう}駿東郡^{おやま}小山町^{いきど}生土^{すんとう}～^{おやま}駿東郡^{うえの}小山町上野（延長4.4km）

―調査設計を推進

◆道路管理

静岡県東部地域の国道1号・138号・246号・414号の4路線、106.6kmを沼津国道維持出張所及び御殿場国道維持出張所で管理しています。

道路の維持管理

○道路パトロール、路面清掃、除草、除雪作業などを行います。

道路の老朽化対策

○メンテナンスサイクルの実施

- ・道路施設は5年に1度、定期的に近接目視点検を行います。
(橋梁、トンネル、函渠、横断歩道橋、情報板など)
- ・点検により見つかった不具合を次回の点検までに補修します。
- ・大型車通行適正化に向けた取り組みを行います。

道路の防災・震災対策

○南海トラフ巨大地震に備え、橋梁の耐震補強を推進します。

交通安全対策

○『静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～』等により、重点的かつ効果的に交通事故対策を推進します。

- ・国道246号おやまうえの小山上野地区視距改良

○歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩道空間を確保します。

- ・国道1号ぬまつ沼津西部地区歩道空間改善

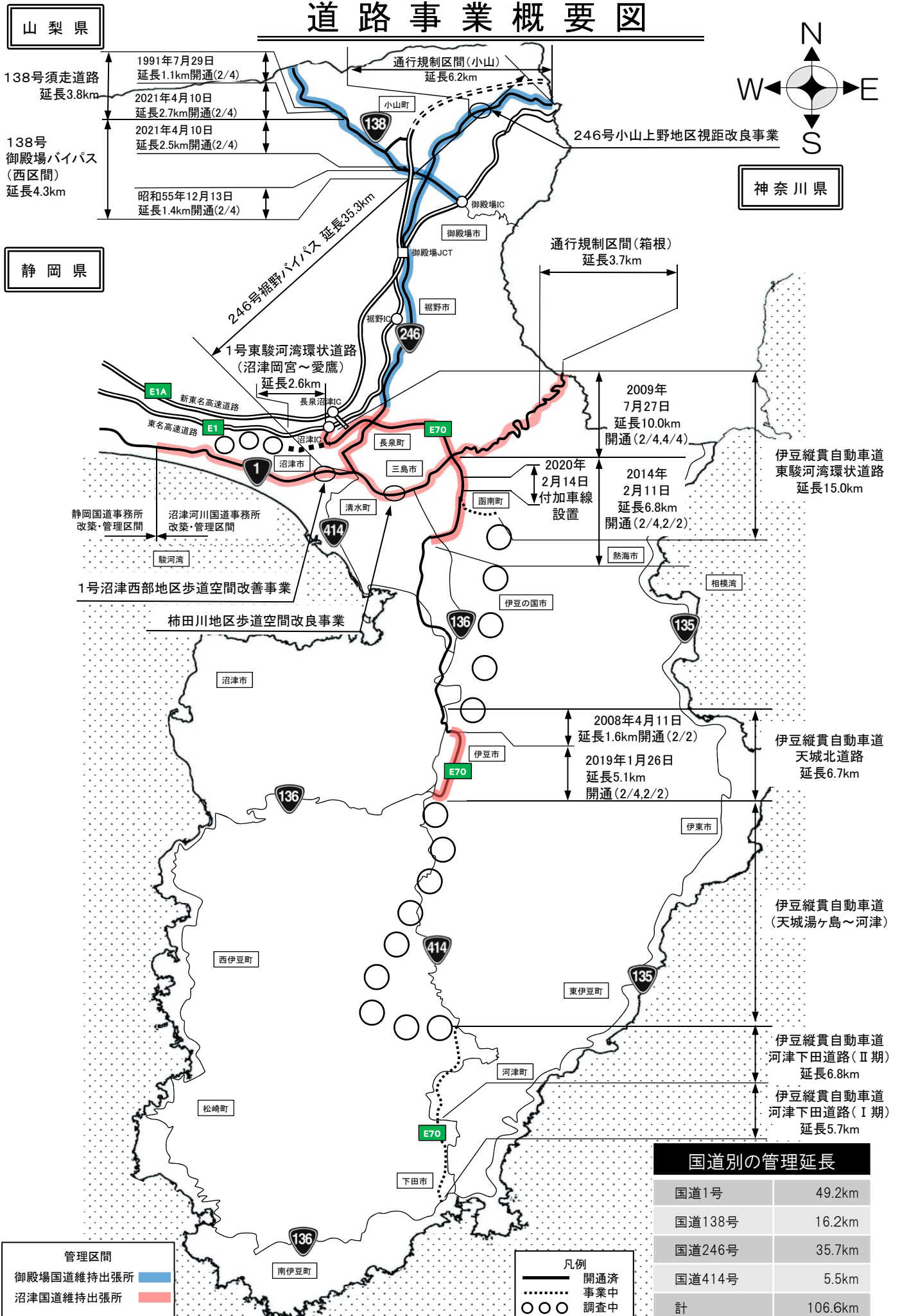
- ・国道1号かきたがわ柿田川地区歩道空間改良

○電線共同溝を整備し無電柱化することで、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。

- ・国道138号すばしり須走電線共同溝

○生活道路における事故削減を目指し、技術的支援をはじめとする地域との連携を推進します。

道路事業概要図



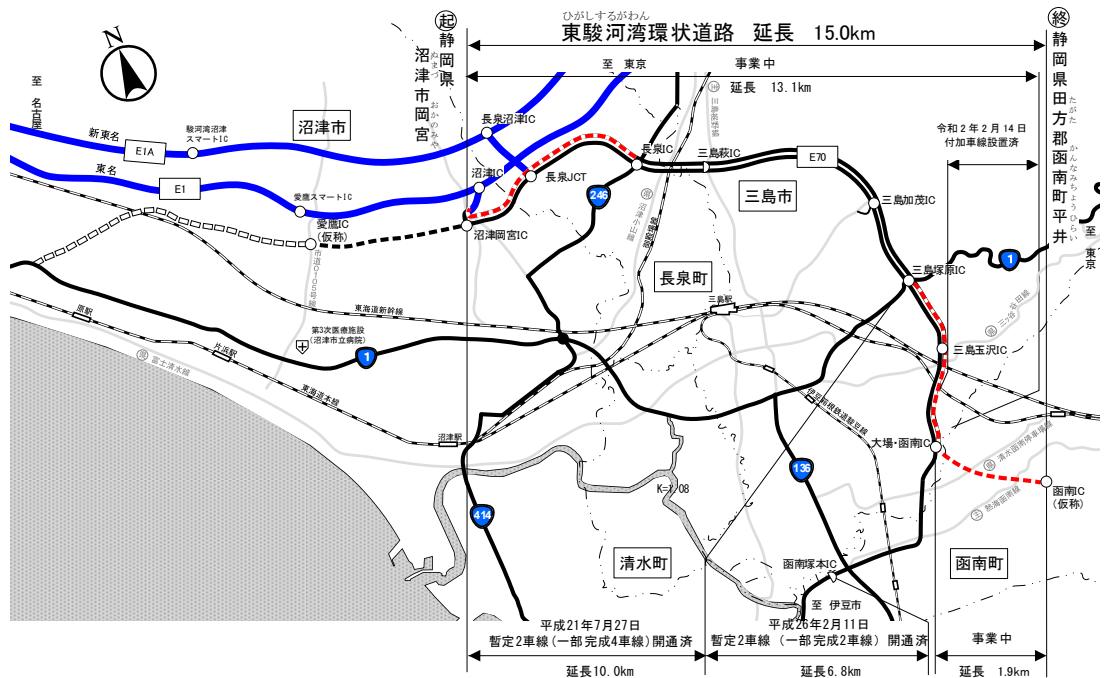
国道別の管理延長

国道1号	49.2km
国道138号	16.2km
国道246号	35.7km
国道414号	5.5km
計	106.6km

ひがしするがわんかんじょう
国道1号 東駿河湾環状道路

ひがしするがわんかんじょう いずじゅうかん ぬまづおかのみや たがた
東駿河湾環状道路は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、沼津岡宮ICを起点とし、田方郡
かなみちょうひらい
函南町平井に至る延長15.0kmの自動車専用道路です。

ぬまづ みしま
沼津・三島市街地における交通渋滞の緩和、交通事故の削減をはじめ、
いず
伊豆地域への玄関口として伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の
ひがしするがわんかんじょう
発展、活性化を支援する東駿河湾環状道路の整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- 平成 21 年 7 月 27 日 ぬまづおかのみや みしまつかはら
沼津岡宮IC～三島塚原IC (延長 10.0km)
暫定 2 車線 一部完成 4 車線開通
- 平成 24 年 3 月 24 日 みしまかも
三島加茂IC 開通
- 平成 24 年 4 月 14 日 ながいずみ ながいずみぬまづ
長泉JCT 供用 (新東名 (長泉沼津IC) と接続)
- 平成 26 年 2 月 11 日 みしまつかはら かなみつかもと
三島塚原～函南塚本 (延長 6.8km) 開通
- 令和 2 年 2 月 14 日 だいば かなみ みしまたまざわ
大場・函南IC～三島玉沢IC 間の上り坂区間 (延長約 0.9km)

付加車線設置

【令和 3 年度の主な事業内容】

だいば かなみ かなみ
○大場・函南IC～函南IC (仮称) (延長 1.9km)

—調査設計を推進

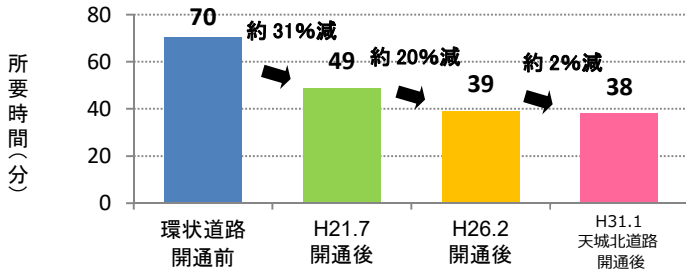
<整備効果>

■所要時間の短縮と渋滞緩和

東駿河湾環状道路が伊豆中央道・修善寺道路に接続し、広域な道路ネットワークが形成され、東名高速道路 沼津ICから天城北道路 月ヶ瀬ICまでの所要時間が短縮しました。

○東名沼津IC～天城北道路

月ヶ瀬ICの所要時間



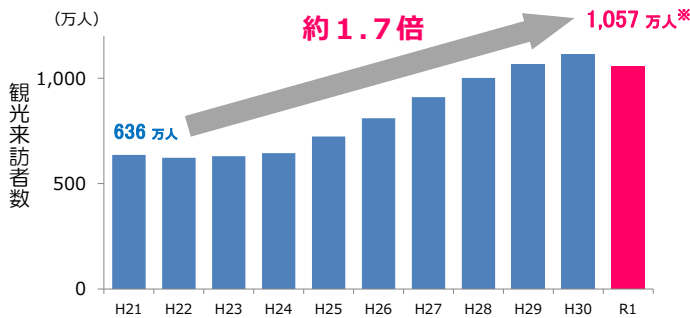
※所要時間算出方法

- ・環状道路開通前：H17 全国道路・街路交通情勢調査 旅行速度
- ・H21.7開通後：H22 全国道路・街路交通情勢調査 12時間平均旅行速度
- ・H26.2開通後：H27 全国道路・街路交通情勢調査 12時間平均旅行速度
- ・H31.1天城北道路開通後：ETC2.0プローブ情報 (H31.2)

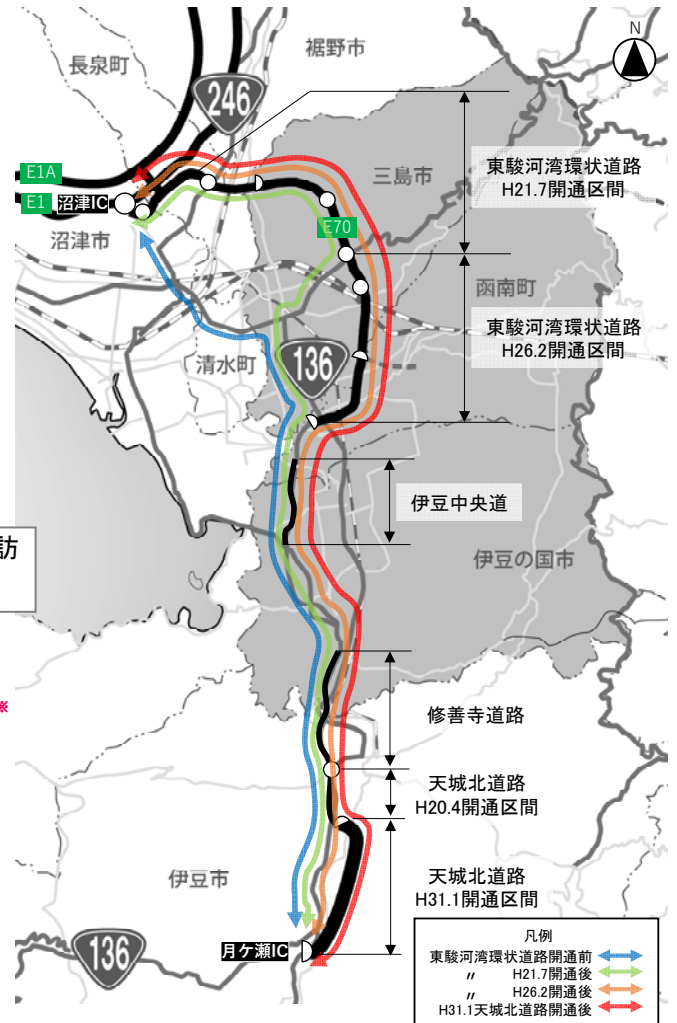
■観光交流客数の増加

沿線市町(三島市、函南町、伊豆の国市)への観光来訪者数が平成21年度に比べて約1.7倍に増加しました。

○観光来訪者数
(三島市・函南町・伊豆の国市)



※令和元年度は10月以降、台風及び新型コロナウイルスの影響を受けて減少
資料：静岡県観光レクリエーション客数 (H21.4-R1.3)



国道1号 東駿河湾環状道路の状況写真

国道414号 河津下田道路（I期）

河津下田道路（I期）は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、下田市箕作を起点とし、下田市六丁目に至る延長5.7kmの自動車専用道路です。

下田市街地における観光交通による交通混雑の緩和、交通事故の削減をはじめ、伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の発展、活性化を支援する河津下田道路（I期）の整備を推進します。

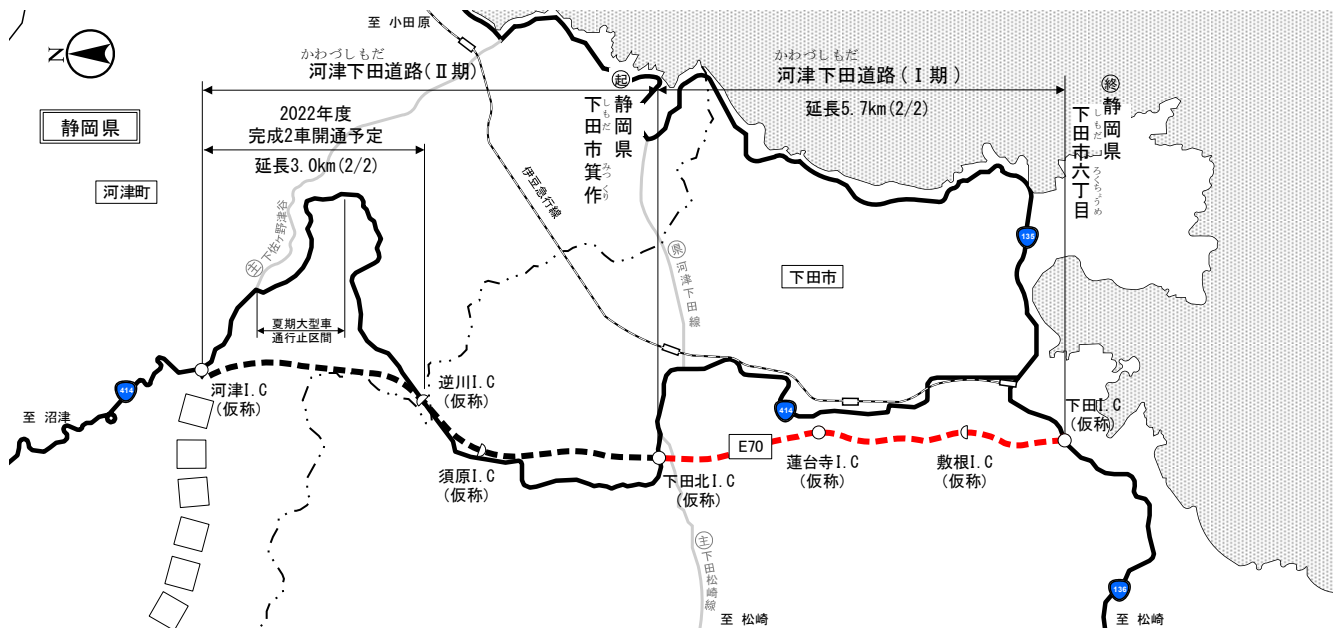
【これまでの取組】

- | | |
|--------------|--------|
| ・平成10年4月 | 新規事業化 |
| ・平成26年11月25日 | 都市計画決定 |
| ・平成27年2月21日 | 中心杭打ち式 |
| ・平成28年8月～9月 | 設計説明会 |

【令和3年度の主な事業内容】

○下田北IC（仮称）～下田IC（仮称）（延長5.7km）

—相玉地区工事用道路工着手、環境調査、水文調査、用地買収、調査設計を推進



国道414号 河津下田道路（Ⅱ期）

河津下田道路（Ⅱ期）は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、河津町梨本を起点とし、下田市箕作に至る延長6.8kmの自動車専用道路です。

並行する国道の未改良区間の解消をはじめ、伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の発展、活性化を支援する河津下田道路（Ⅱ期）の整備を推進します。

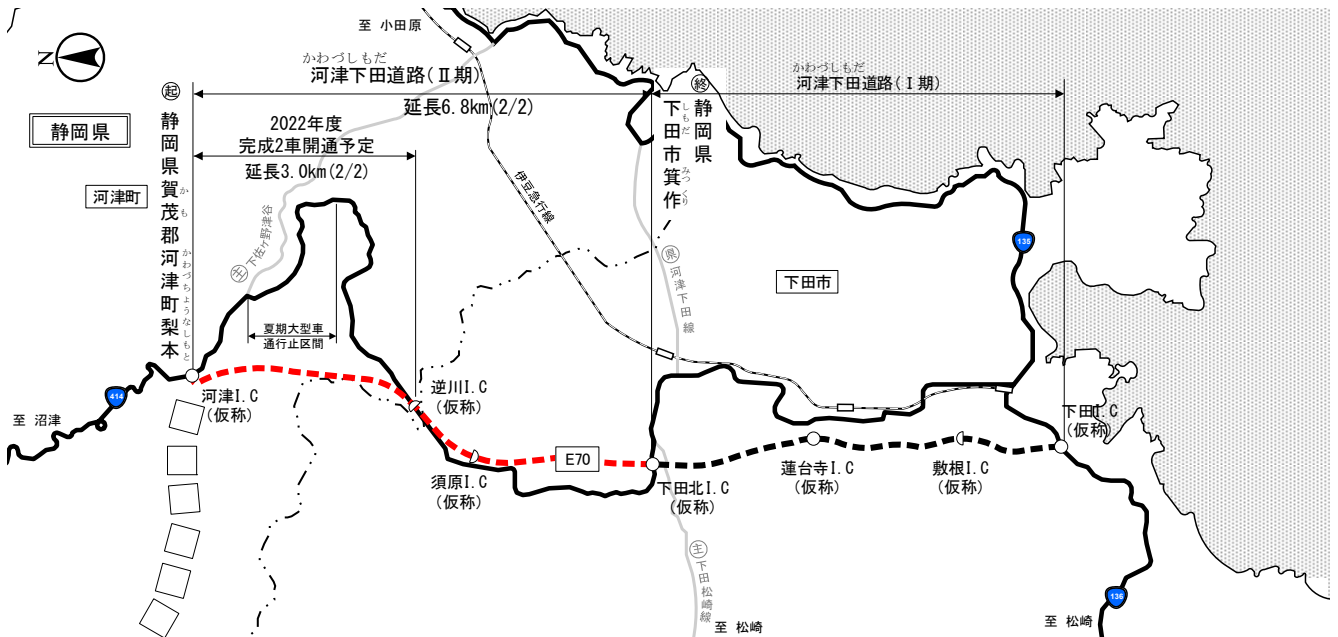
【これまでの取組】

- ・平成24年4月 新規事業化
- ・平成27年2月21日 起工式

【令和3年度の主な事業内容】

○河津IC（仮称）～下田北IC（仮称）（延長6.8km）

- －改良工、橋梁上下部工、トンネル工、トンネル設備工、舗装工、環境調査、水文調査、用地買収、調査設計を推進

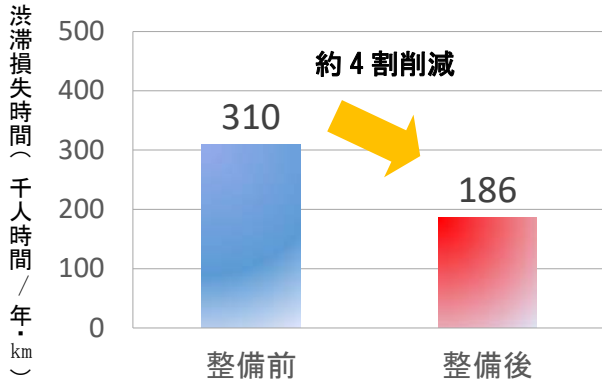


<整備効果>

■観光支援、渋滞の緩和

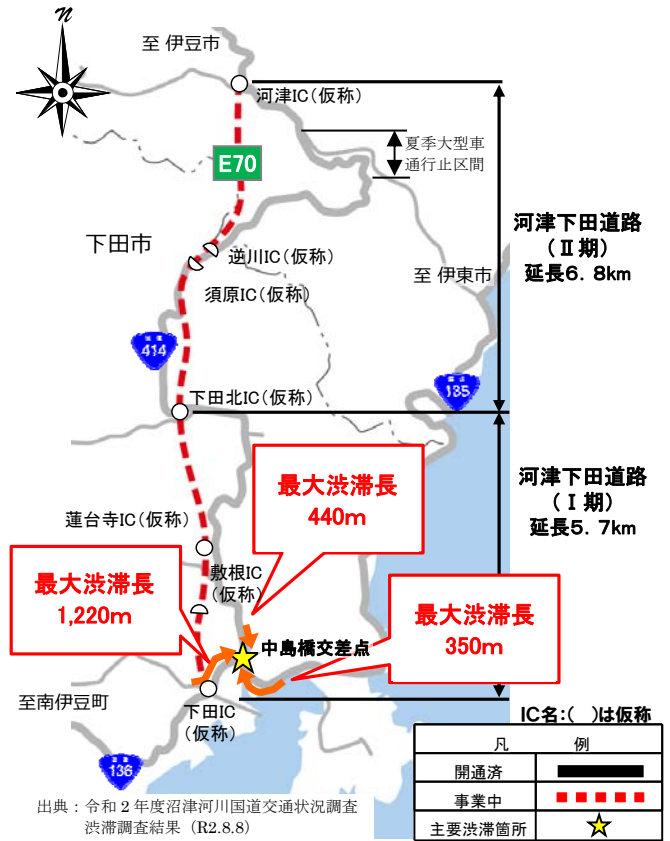
河津下田道路(Ⅱ期)の整備により、国道414号の夏季大型車通行規制区間を回避でき、観光交通のスムーズな通行が可能になります。また、河津下田道路(Ⅰ期)の整備により国道414号の交通が転換すると考えられ、中島橋交差点の渋滞損失時間が約4割削減することが期待されます。

○中島橋交差点の渋滞損失時間の変化



※整備前：渋滞損失時間確定値(R1)は、平均旅行時間と基準旅行時間の差(ETC2.0プローブ情報)に交通量(全国道路・街路交通情勢調査)と平均乗車人員を乗じて、年間のkmあたりとして算定

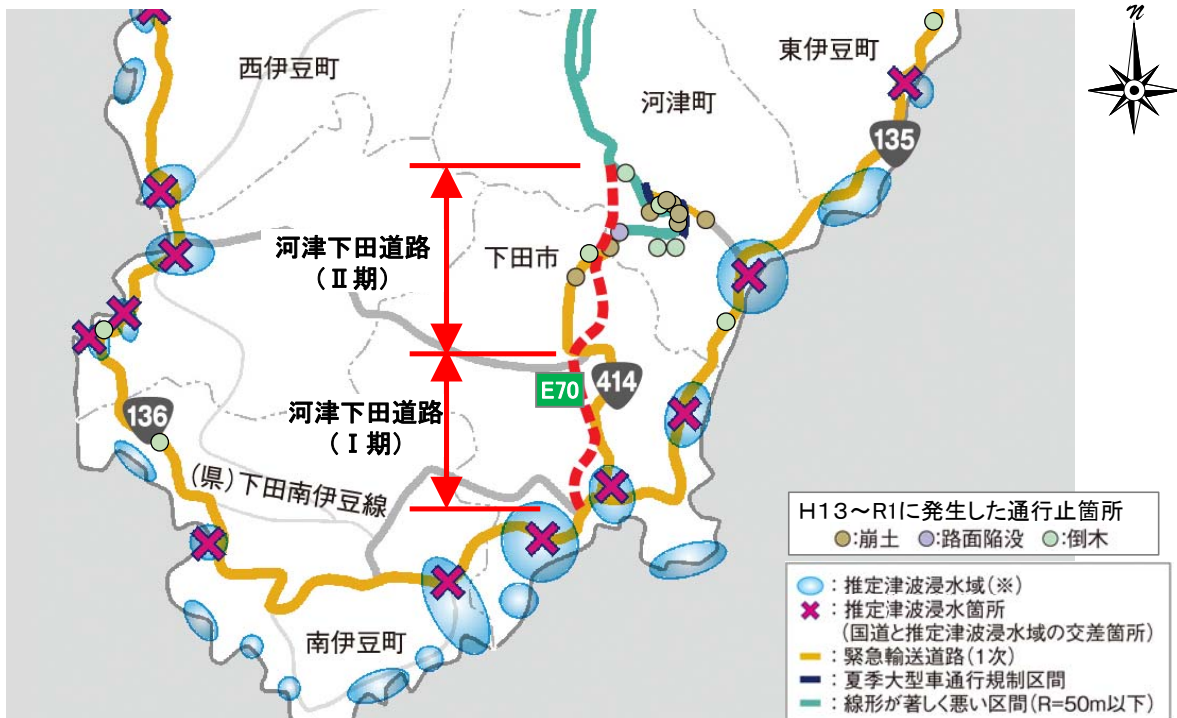
整備後：交通量推計により整備あり・なしにおける渋滞損失時間の変化率を求め、現況値に乗じて算定



出典：令和2年度沼津河川国道交通状況調査 渋滞調査結果(R2.8.8)

■緊急輸送道路の機能強化

南海トラフ巨大地震による津波浸水区域、線形不良区間を回避するルートを確認することで、災害時の安全性・信頼性が確保されます。



※出典：南海トラフ巨大地震の被害想定(第二次報告)(H25.3)

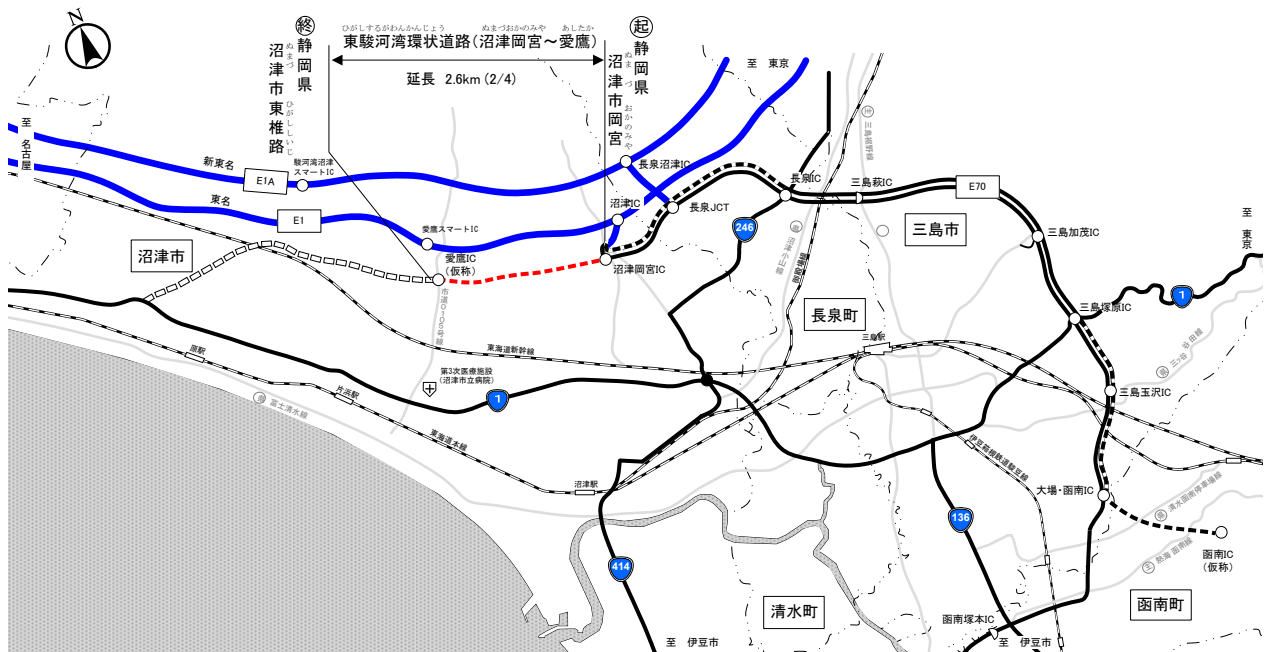
■国道414号河津下田道路の状況写真



国道1号 東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）

国道1号東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）は、沼津市岡宮を起点とし、同市東椎路に至る延長2.6kmの道路です。

伊豆縦貫自動車道東駿河湾環状道路と一体となって沼津・三島都市圏の環状道路を形成し、現道1号等の慢性的な交通混雑の緩和及び南海トラフ巨大地震時における緊急輸送ネットワークの構築を図るため、東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）の整備を推進します。



【これまでの取組】

- ・昭和62年10月 都市計画決定
- ・平成27年4月 新規事業化
- ・平成28年7月 中心杭打ち
- ・平成30年6月 設計説明会

【令和3年度の主な事業内容】

○沼津岡宮IC～愛鷹IC（仮称）（延長2.6km）

一環境調査、水文調査、埋蔵文化財調査、用地買収、調査設計を推進

<整備効果>

■ 定時性・時間の短縮

沼津・三島都市圏を通過する国道1号の交通量の減少が見込まれるなど、都心部での慢性的な渋滞が緩和し、定時性や移動時間の短縮が図られ、住民生活や円滑な企業活動を支援します。

■ 災害に強い緊急輸送ネットワークの構築

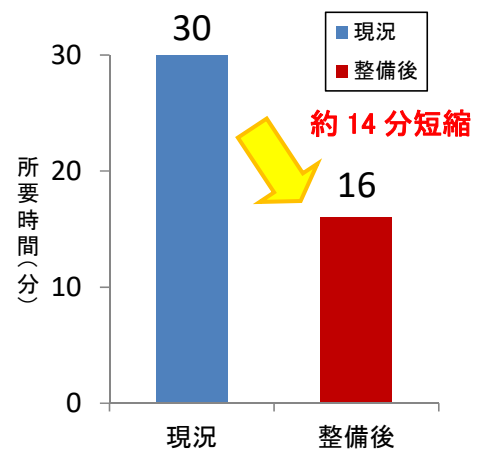
東名、新東名、東駿河湾環状道路と有機的に連結されることで、第三次救急医療施設沼津市立病院へのアクセスルートが確保され、災害に強い緊急輸送ネットワークが構築されます。

○ 第三次救急医療施設までのアクセスルートの変化が想定される

○ 所要時間の短縮の予測



(三島塚原IC 交差点～市立病院南交差点)



※出典 整備前：国道1号 ETC2.0 プローブ情報 (R2.10 平日)
整備後：東駿河湾環状道路 V=60km/h、沼津市道 V=40km/h で算定

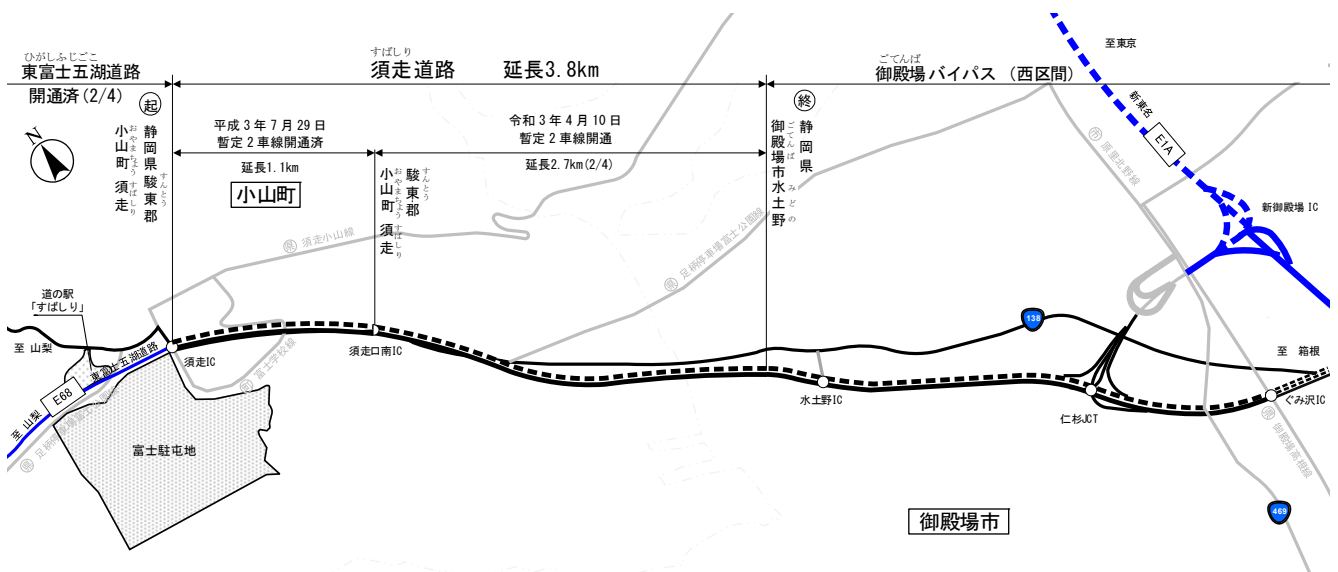


国道1号 東駿河湾環状道路 (沼津岡宮IC～愛鷹IC (仮称)) の状況写真

国道138号 須走道路

須走道路は、駿東郡小山町須走を起点とし、御殿場市水土野に至る延長3.8kmの道路です。

御殿場バイパス及び東富士五湖道路等と高速・広域ネットワークを形成することで、観光交通の集中による慢性的な交通混雑の緩和を図るため、須走道路の整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- ・平成3年7月29日 駿東郡小山町須走（延長1.1km）暫定2車線開通
- ・平成20年4月 新規事業化
- ・令和3年4月10日 駿東郡小山町須走～御殿場市水土野（延長2.7km）暫定2車線開通

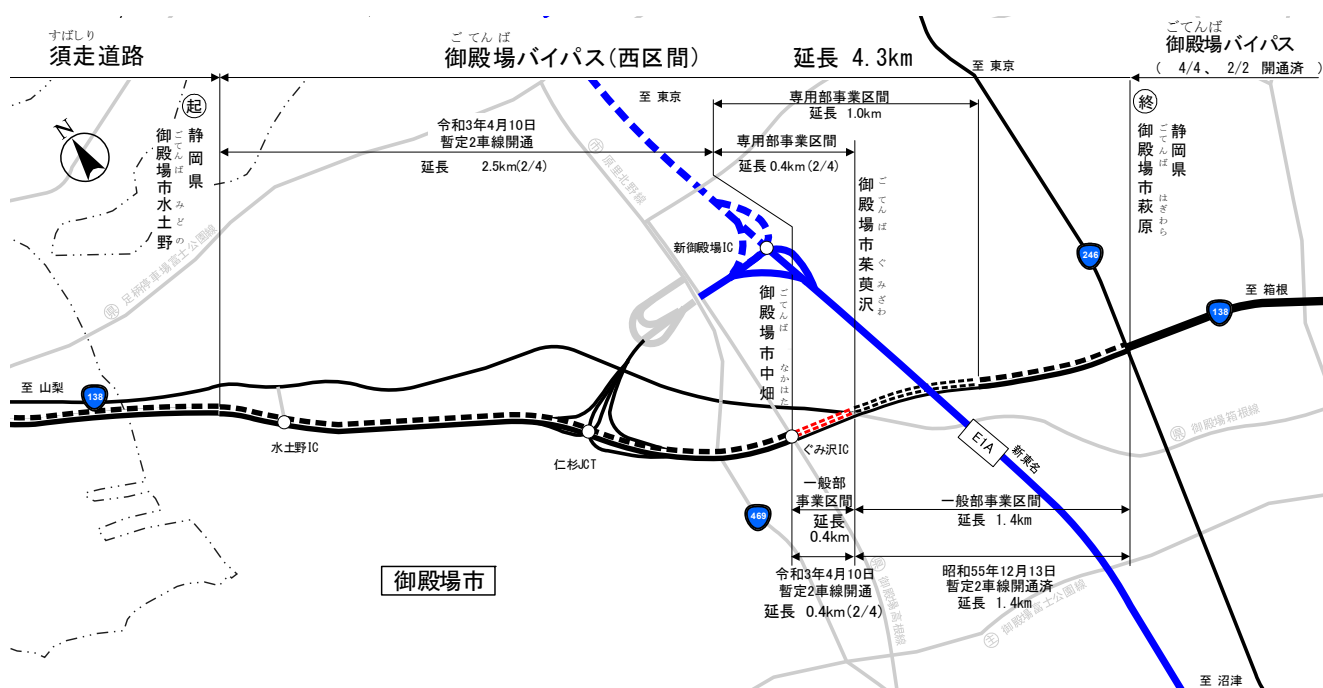
【令和3年度の主な事業内容】

- 駿東郡小山町須走～御殿場市水土野（延長2.7km）
 - －整備工、移転補償、環境調査、水文調査、調査設計を推進

国道138号 御殿場バイパス（西区間）

御殿場バイパス（西区間）は御殿場市水土野を起点とし、同市萩原に至る延長4.3kmの道路です。

須走道路及び東富士五湖道路等と高速・広域ネットワークを形成することで、観光交通の集中による慢性的な交通混雑の緩和を図るため、御殿場バイパス（西区間）の整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- ・昭和55年12月13日 御殿場市ぐみ沢～御殿場市萩原（延長1.4km）暫定2車線開通
- ・平成11年4月 新規事業化
- ・令和3年4月10日 御殿場市水土野～御殿場市中畑（延長2.5km）暫定2車線開通

【令和3年度の主な事業内容】

○御殿場市水土野～御殿場市ぐみ沢（延長2.9km）

－整備工、環境調査、水文調査、調査設計を推進

・御殿場市中畑～御殿場市ぐみ沢（延長0.4km）

－移転補償、環境調査、水文調査、調査設計を推進

<整備効果>

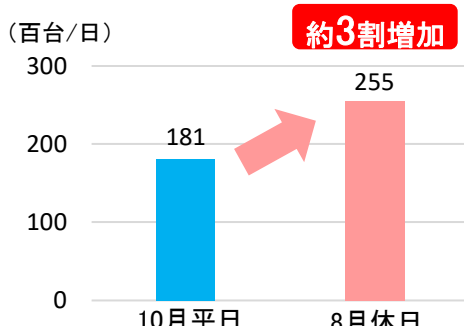
■交通渋滞の緩和

須走道路・御殿場バイパス（西区間）の整備により、並行する現道の国道138号の交通が転換すると考えられ、顕著な課題となっている観光期（休日）における交通渋滞の緩和が期待されます。

○須走道路・御殿場バイパス（西区間）開通後の交通渋滞の緩和

【交通量】

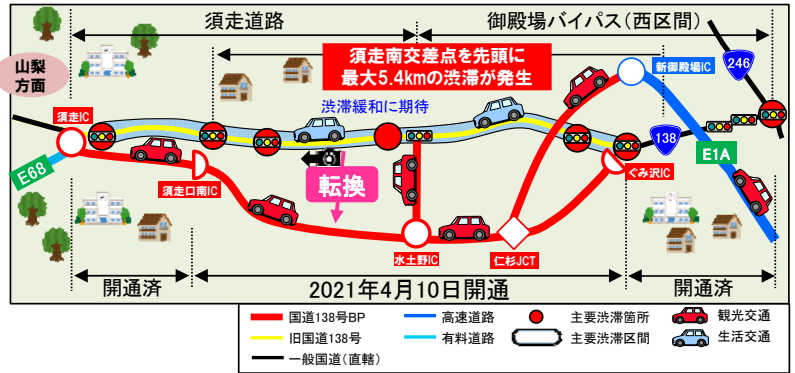
観光交通が増加する8月休日の交通量は、10月平日に比べ約3割増加



出典：国道138号トラカン交通量（水土野）
（2018年8月1日～31日の休日平均、
2018年10月1日～31日の平日平均）

【交通分散イメージ】

山梨方面の観光交通が、信号が連担する現道からバイパスに転換し、生活交通との分散が図られ、現道の渋滞緩和に期待



出典：ETC2.0 プロブ情報（2019.8 休日）※最大渋滞長は旅行速度20km/h未満の区間長を合算し算出

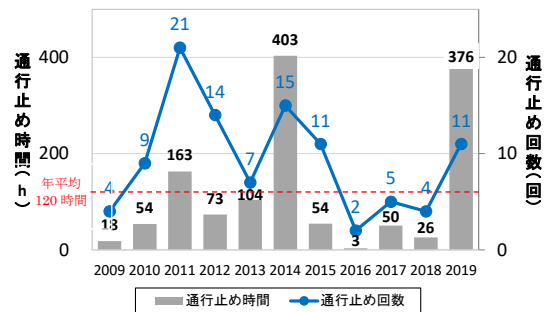
■災害に強い道路機能の強化

須走道路・御殿場バイパス（西区間）の整備により、中央自動車道の通行止め時に、東名・新東名高速道路へ迂回が可能になる等、防災ネットワークが強化されます。

○東名・中央道の通行止め時にも自動車専用道路ネットワークで迂回が可能



○中央自動車道の通行止め発生状況



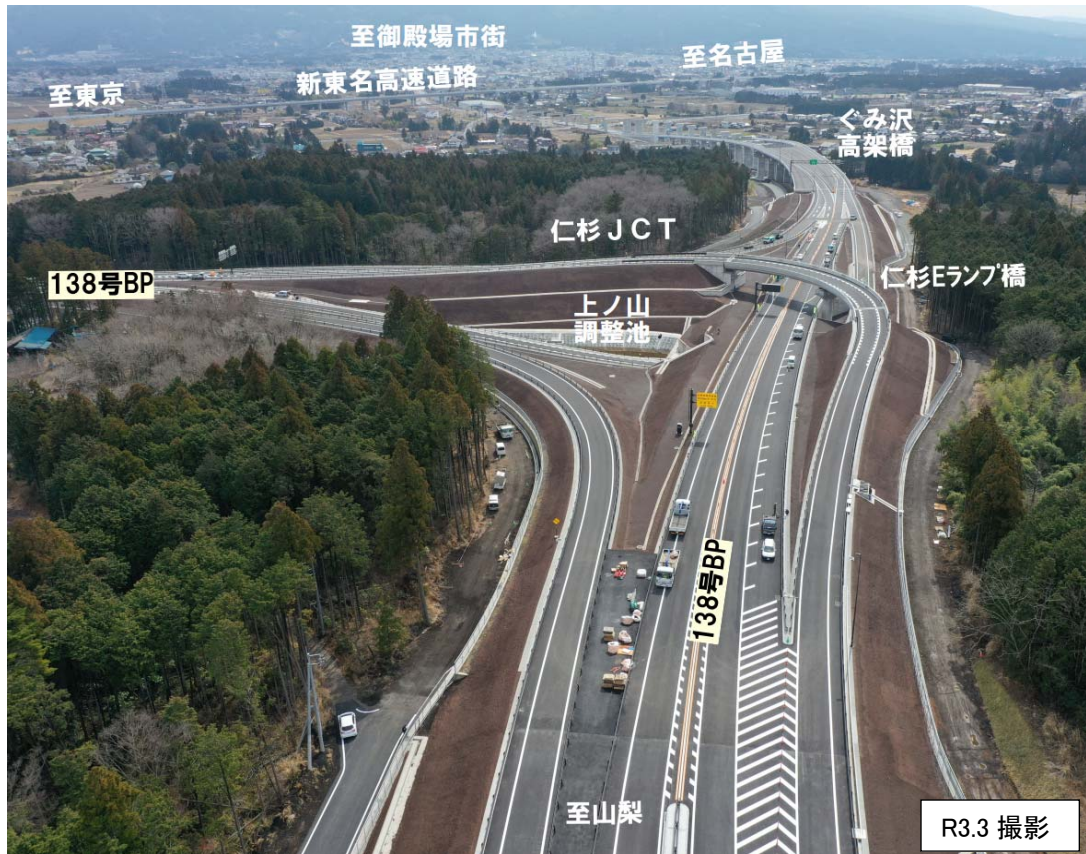
※中央自動車道（大月IC～八王子JCT）の通行止め時間
※H24の笹子トンネルで発生した通行止め653時間を除く

※出典 NEXCO 中日本

すばしり
 ■須走道路



ごてんぼ
 ■御殿場バイパス (西区間)



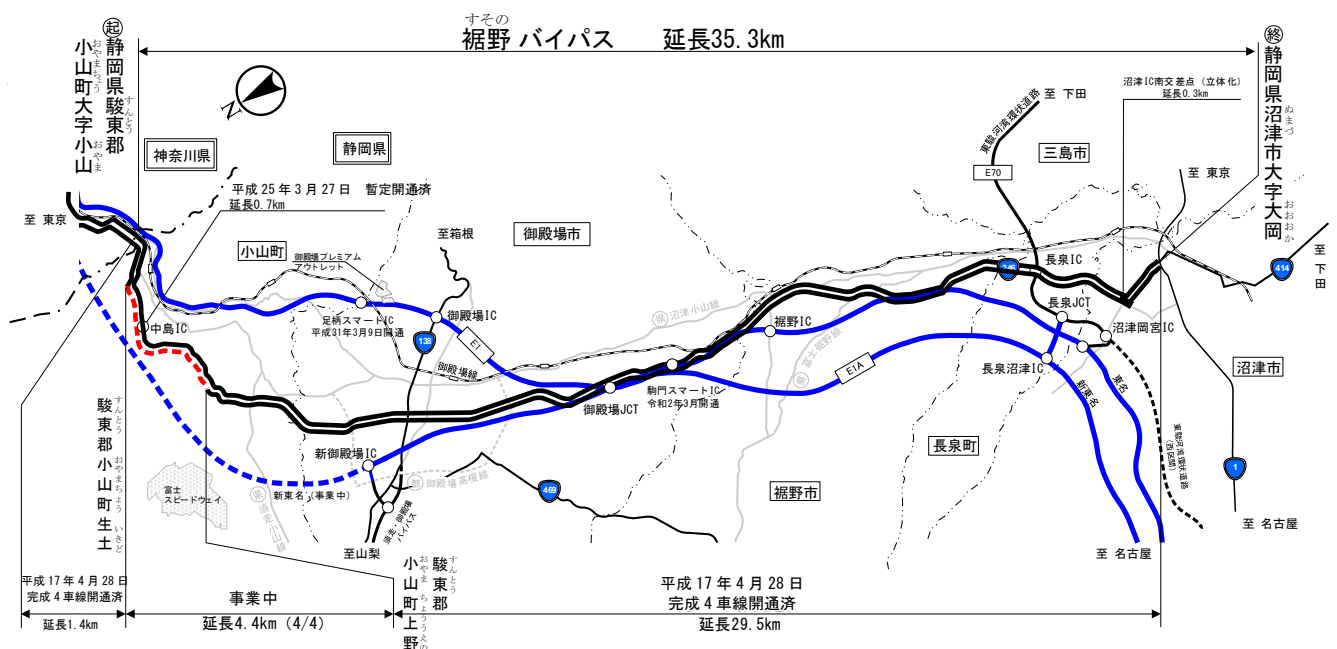
国道 138 号 ^{すばしり} 須走道路・^{ごてんぼ} 御殿場バイパス (西区間) の状況写真

凡例	
.....	計画位置
	橋梁部

国道246号 裾野バイパス

裾野バイパスは、駿東郡小山町小山を起点とし、沼津市大岡に至る延長35.3kmの道路です。

裾野、御殿場及び小山町市街地における交通混雑の緩和を図るとともに、首都圏と静岡県東部地域を結ぶ幹線道路としての機能を確保するため、裾野バイパスの整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- 平成17年4月28日 駿東郡小山町小山～駿東郡小山町生土（延長1.4km）
完成4車線開通
- 平成17年4月28日 駿東郡小山町上野～沼津市大岡（延長29.5km）
完成4車線開通
- 平成25年3月27日 中島（暫定）IC開通

【令和3年度の主な事業内容】

- 駿東郡小山町生土～駿東郡小山町上野（延長4.4km）
—調査設計を推進

<整備効果>

■交通渋滞の緩和

裾野バイパスの4車線整備により観光期（休日）における交通渋滞が緩和し、円滑な交通の流れの確保が期待されます。



①大久保トンネル手前（上り）の交通状況



(R2.2撮影)

②城山トンネル手前（上り）の交通状況

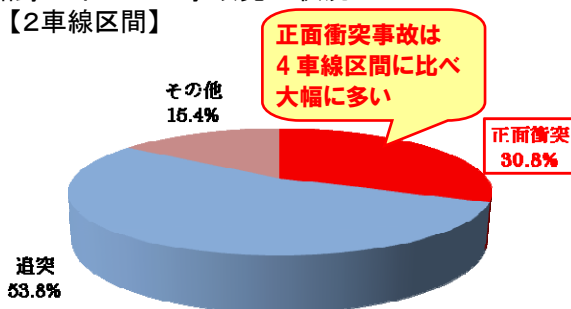


(R2.2撮影)

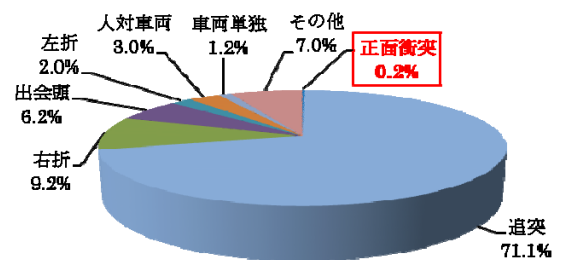
■交通事故の削減

裾野バイパス4車線整備により、重大事故の危険性が高い正面衝突事故の発生件数の減少が期待されます。

○裾野バイパスの事故発生状況
【2車線区間】



【4車線区間】



※出典 交通事故総合データベース (H28-R1)



国道246号 裾野バイパス（中島IC付近）の状況写真

道路管理関係

■道路の維持管理

- ・ 日常の道路パトロールや路面清掃、除草など適切な道路の維持管理により「安全」で「安心」して通行できる道路を確保します。
- ・ 冬期には大雪に備え、他の道路管理者や警察などと連携し、道路交通網の混乱を最小限に抑えるよう効率的な除雪作業を行います。



除雪作業(国道1号)



タイヤチェック(国道138号)

■道路の老朽化対策

○メンテナンスサイクルの実施

- ・ 道路施設は5年に1度、定期的に近接目視点検を行います。
(橋梁、トンネル、函渠、横断歩道橋、舗装など)



橋梁点検車による点検



高所作業車によるトンネル点検

- ・自治体の職員が点検を適切に行えるようにするため、道路メンテナンス会議のなかで橋梁点検研修を開催する等、自治体支援を行います。



自治体向け橋梁点検研修(座学)



自治体向け橋梁点検研修(現地実習)

■道路の防災・震災対策

- 東海地震などに備え、橋の耐震対策を実施することで、地震発生時における被害を軽減し、円滑かつ迅速な応急活動を支援するための緊急輸送ネットワークの確保を図ります。

【橋梁の耐震補強実施事例】



施工前



完成

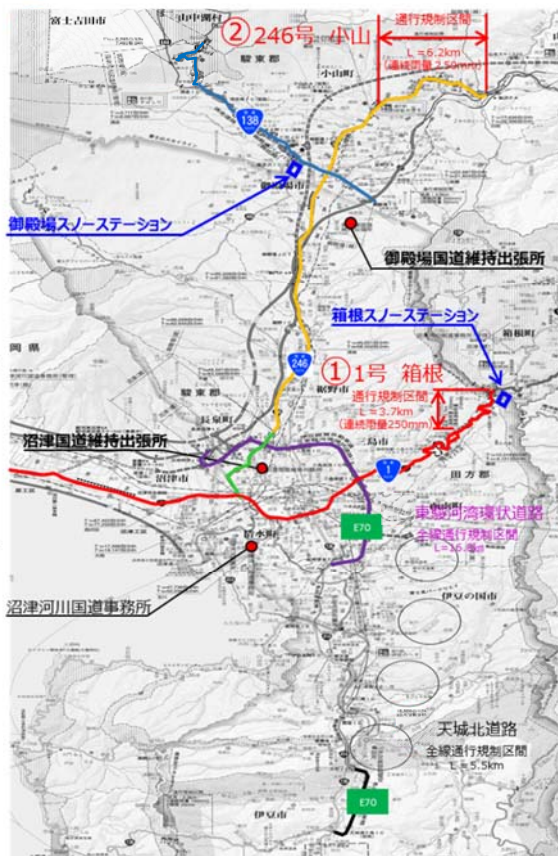
管理区間総延長：106.6km

○沼津国道維持出張所（管理延長 60.2 km）

国道1号	函南町～富士市	管理延長 32.9km
国道246号	長泉町～沼津市	管理延長 5.5 km
国道1号 東駿河湾環状道路（伊豆縦貫自動車道）	沼津岡宮IC～函南塚本IC	管理延長 16.3km
国道414号 天城北道路（伊豆縦貫自動車道）	月ヶ瀬IC～大平IC	管理延長 5.5km

○御殿場国道維持出張所（管理延長 46.4 km）

国道138号	小山町～御殿場市	管理延長 16.2km
国道246号	小山町～裾野市	管理延長 30.2km



大雨

○事前通行規制区間

	路線名	名称	担当出張所	交通規制		区間延長	通行規制(通行止)気象条件
				区間	距離標		
①	1	箱根	沼津国道維持出張所	静岡県田方郡函南町桑原地内	103.0kp ～ 106.7kp	3.7km	連続雨量250mm
②	246	小山	御殿場国道維持出張所	静岡県駿東郡小山町大字生土～ 静岡県駿東郡小山町大字棚頭	89.4kp ～ 95.6kp	6.2km	連続雨量250mm

規制区間において、交通が危険と判断された場合には、連続雨量に達する前でも通行規制を行います。

大雪

○予防的通行止め区間

	路線名	名称	担当出張所	交通規制		区間延長
				区間	距離標	
①	1	箱根	沼津国道維持出張所	静岡県田方郡函南町桑原地内	103.0kp ～ 106.7kp	3.7km
②	246	小山	御殿場国道維持出張所	静岡県駿東郡小山町大字生土～ 静岡県駿東郡小山町大字棚頭	89.4kp ～ 95.6kp	6.2km
③	東駿河湾環状道路		沼津国道維持出張所	静岡県田方郡函南町塚本～ 静岡県沼津市足高	109.6kp ～ 126.4kp	16.8km
④	138	須走	御殿場国道維持出張所	静岡県駿東郡小山町須走地内	15.3kp ～ 20.6kp	5.3km
⑤	天城北道路		沼津国道維持出張所	静岡県伊豆市月ヶ瀬～ 静岡県伊豆市大平	0.0kp ～ 5.5kp	5.5km

○チェーン規制区間

	路線名	名称	担当出張所	交通規制		区間延長
				区間	距離標	
④	138	須走	御殿場国道維持出張所	静岡県駿東郡小山町須走地内	15.3kp ～ 20.6kp	5.3km

H31.2.1
運用開始

交通安全関係

- 「静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～」に基づき、交通挙動分析や現地地点検等により、的確な評価分析を行い、重点的かつ効果的に交通事故対策を進めます。
- 歩行者や自転車が安心・安全に通行できる歩道空間を確保します。
- 電線共同溝を整備し無電柱化することで、地震災害に強い道路を目指すとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。
- 生活道路における事故削減を目指し、技術的支援をはじめとする地域との連携を推進します。

◆交通安全対策

【令和3年度の主な事業箇所】

○静岡県駿東郡小山町上野 静岡246号交通安全対策事業（小山上野地区視距改良）

- ・ 安心で安全に通行できるよう線形改良を実施し、交通事故の防止を図る。
－ 調査設計、用地買収、工事を実施

○静岡県沼津市緑ヶ丘～西沢田 静岡1号交通安全対策事業（沼津西部地区歩道空間改善）

- ・ 横断歩道橋階段部の取り付け位置の変更や植栽帯のコンパクト化により、歩行者が安全・安心に通行できる歩道空間の確保を行う。
－ 調査設計、用地買収、工事を実施

○静岡県駿東郡清水町伏見 静岡1号交通安全対策事業（柿田川地区歩道空間改良）

- ・ 植栽帯のコンパクト化により、歩行者が安全・安心に通行できる歩道空間の確保を行う。
－ 調査設計、工事を実施

○静岡県駿東郡小山町須走 静岡138号電線共同溝事業（須走電線共同溝）

- ・ 無電柱化することにより、良好な景観形成や震災時における緊急輸送道路の確保、安全で快適な歩行空間の確保を行う。
－ 本体工事を実施

交通安全対策等状況写真

R1 38 須走電線共同溝

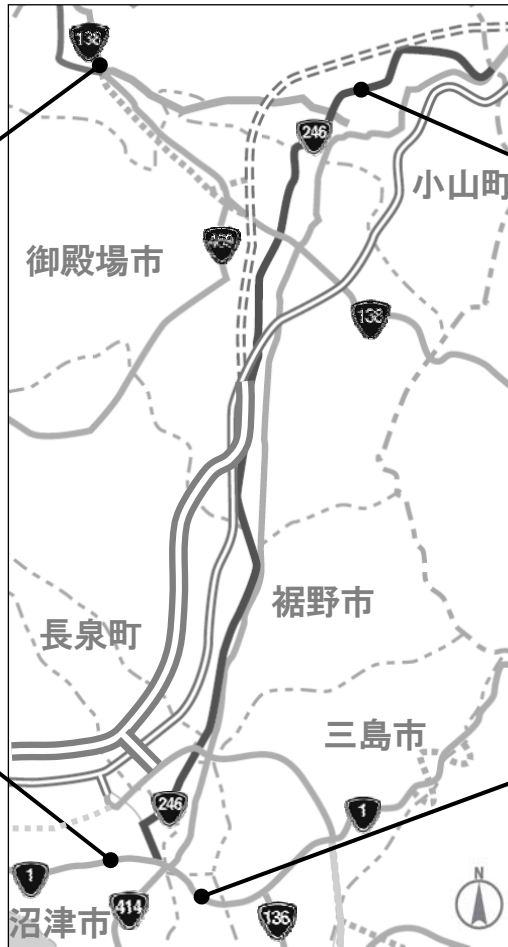


地震時に倒れ、緊急車両の通行を阻害することが懸念される電柱・電線

R1 沼津西部地区歩道空間改善



横断歩道橋の階段が歩道の有効幅員を狭め、歩行者等の障害となっている



R246 小山上野地区視距改良



国道 246 号静岡神奈川県付近は、大型車が多く急勾配かつ急カーブが連続する

R1 柿田川地区歩道区間改良



柿田川公園前の国道1号の歩道は多くの方が利用するが植栽帯が幅員の半分を占めている

(5) 危機管理

静岡県東部地域の自治体・関係機関との連携等を行い、災害発生の防止、被害の軽減を図ります。

◆ 各種訓練、会議の実施 — 自治体、関係機関との連携 —

水害、土砂災害、地震等に対応した訓練を地域の自治体と連携し実施しています。また災害対策等に関わる連絡会議等を開催し、自治体や関係機関との連携を図っています。



静岡県東部地域大規模氾濫
減災協議会 (R1. 6月)



静岡県東部地域水防演習 (R1. 6月)

◆ 観測体制の構築 — 直轄管理区間内に気象観測網を整備 —

近年の集中豪雨や自然災害に備えるため、管内にリアルタイムな降雨状況を把握できるXバンドレーダーや雨量観測所20箇所及び河川水位観測所14箇所を設置しています。また、降雨状況や水位状況及びCCTVカメラ52箇所により河川・海岸の状況把握を常時実施しています。収集したデータより水防団や一般住民に対して水防警報・洪水予報をはじめとする各種予警報及び海岸水防警報を発令し迅速な情報提供を行っています。

なお、インターネットを通じ雨量・水位情報の提供を行っています。



ほんじゆく きせがわ
本宿水位・流量観測所(黄瀬川)

H30. 4. 15 8:10頃の映像 (H30.前線による大雨)
CCTVカメラにより撮影

この日は、黄瀬川上流の赤塚雨量観測所でも1時間には38mmの雨が降り、7:40からの10分間で1.31mの水位上昇を記録。

◆ **災害対策車両の配備** — 来る災害に備えて所内に車両を配備 —

災害対策車両を事務所に配備し、災害時の迅速な対応を図ります。また、自治体からの要請により災害対策車両を派遣し支援を行います。



近年の排水ポンプ車稼働実績
(R1: 令和元年東日本台風(三島市御園地区))



近年の排水ポンプ車稼働実績
(H29: 台風21号(函南町新田地区))

◆ **災害時の広域支援** — 国土交通省のネットワークを生かした広域支援 —

○ 現地情報連絡員(リエゾン)の派遣



現地情報連絡員(通称:リエゾン)
— フランス語で「組織間の連絡、連携」の意味 —

災害時に圏域の自治体との連携を密接に図るため、圏域の18自治体とリエゾン派遣に関する協定を締結し、災害が発生又は発生するおそれのある場合には直ちにリエゾンを派遣し、情報収集や支援ニーズの把握を行います。

○ TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の派遣

大規模自然災害の発生や又は発生する恐れがある場合に被災した自治体等に対して、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大防止、被災地の早期復旧等、またその他の災害応急対策に対する技術的な支援を行います。



現地調査の様子(R1: 令和元年東日本台風)

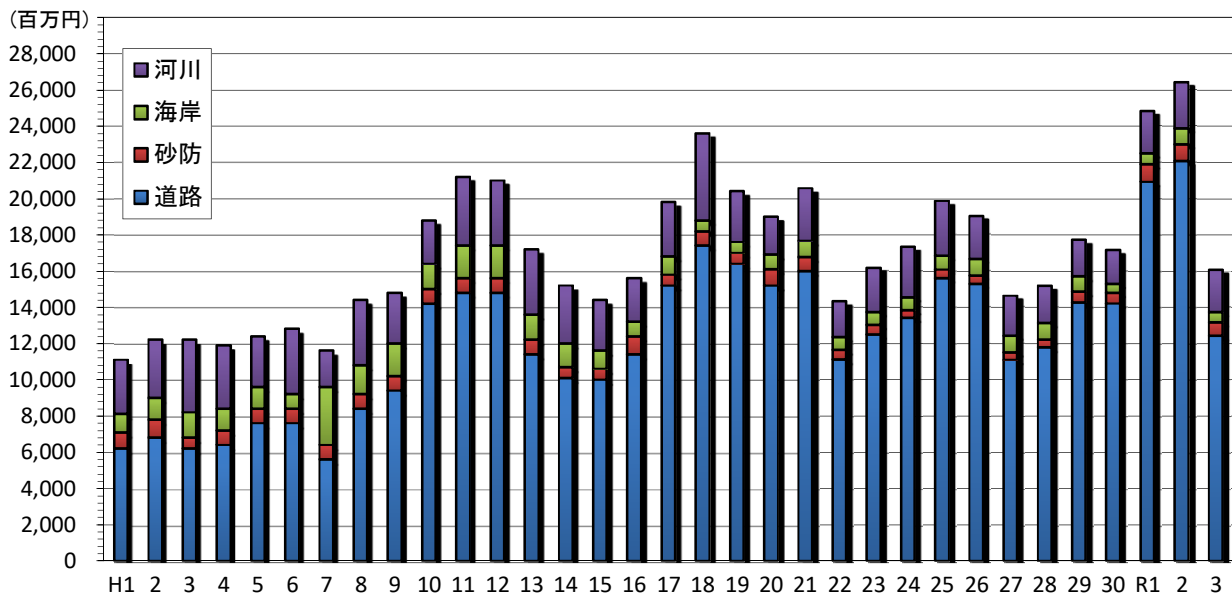
(参考) 令和3年度の事業費内訳

(単位:百万円)

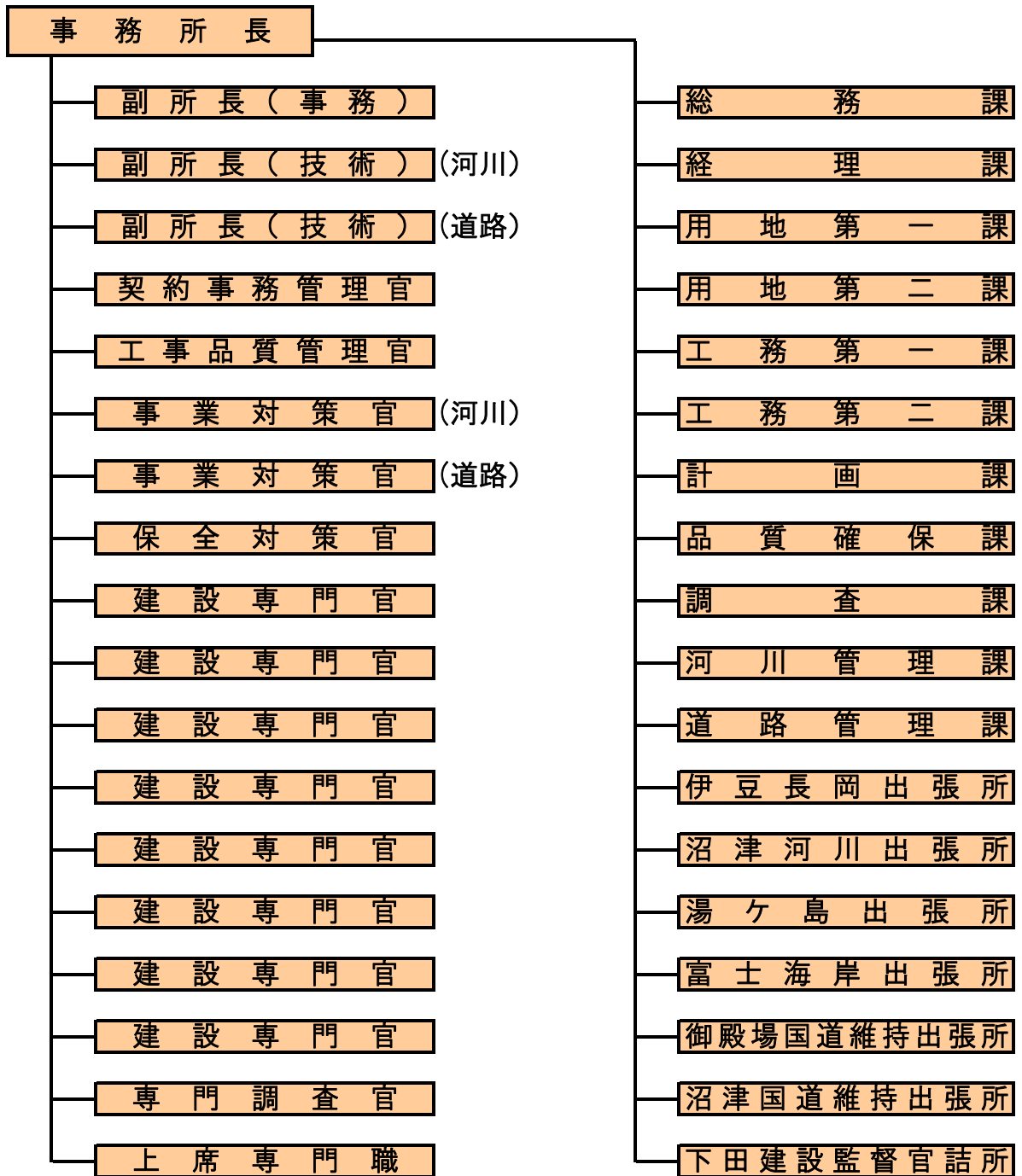
事業内容	区分 費目	狩野川	狩野川防砂	富海	士岸	令和3年度 事業費計	前年度 当初	前年度 補正等	
治水関係事業	河川関係	一般河川改修	1,214			1,214	1,485	870	
		総合水系環境整備事業	140			140	61	0	
		河川維持修繕	770				770	733	461
		河川工作物関連応急対策事業	210				210	255	0
	砂防関係	砂防事業		755		755	927	480	
	海岸関係	海岸保全施設整備事業			568	568	878	587	
	小計		2,334	755	568	3,657	4,339	2,398	
事業内訳	区分 費目	路線名				令和3年度 事業費計	前年度 当初	前年度 補正等	
		1号	138号	246号	414号				
道路関係事業	改築関係	伊豆縦貫自動車道	10			10,131	10,141	9,650	1,430
		一般道路	775	309	100	0	1,184	11,410	685
		計	785	309	100	10,131	11,325	21,060	2,115
	交通安全	交通安全		925			925	990	89
		計		925			925	990	89
	電線共同溝	電線共同溝		168			168	30	0
	小計						12,418	22,080	2,204
合計						16,075	26,419	4,602	

- ※ 上記金額は、「河川及び道路整備勘定」のみである。
- ※ 道路関係事業の路線別は、改築関係のみを記載している。
- ※ 上記金額は、百万円単位で整理しているため合計金額が合わない場合がある。

事業費(当初)の推移



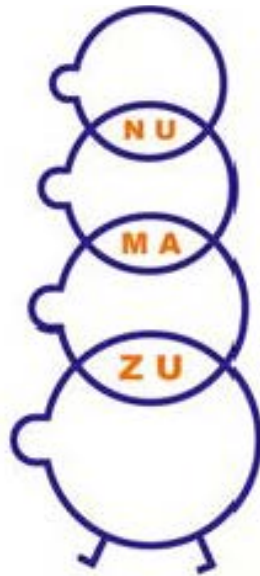
沼津河川国道事務所の組織



国土交通省

沼津河川国道事務所

みんなのために
みらいのために



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Numazu Office of River and National Highway